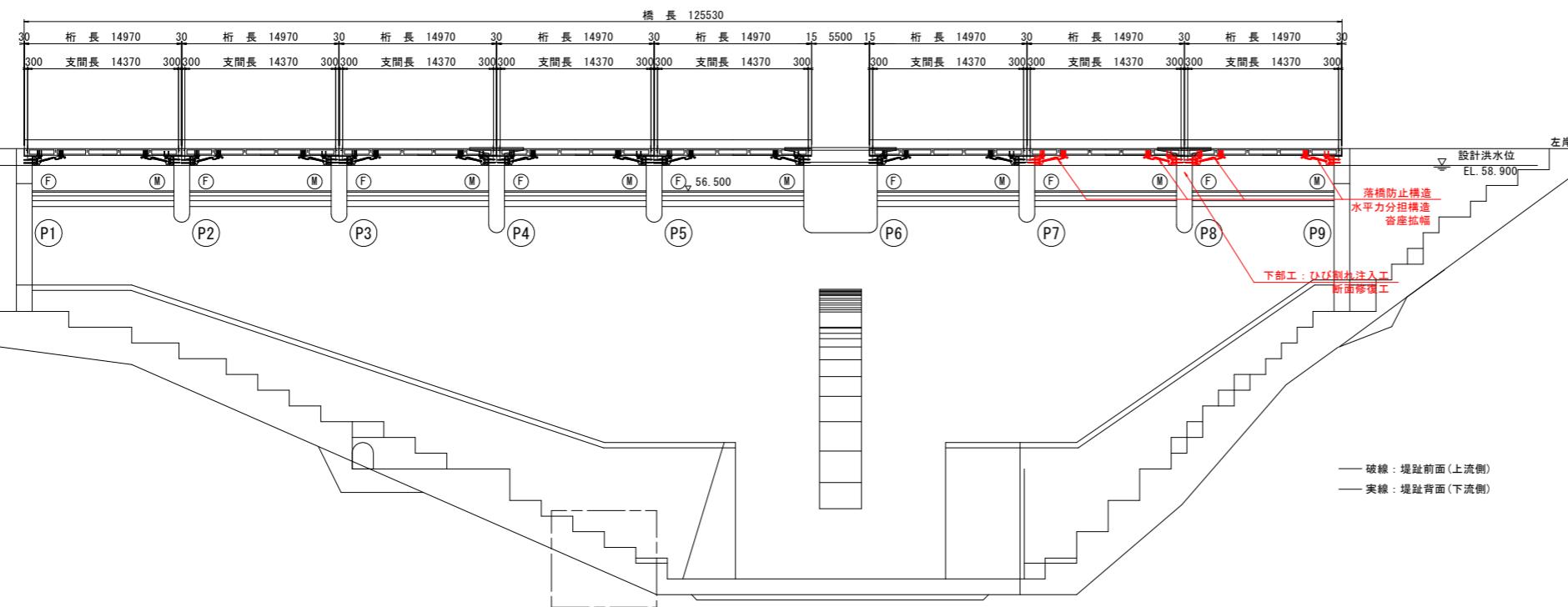
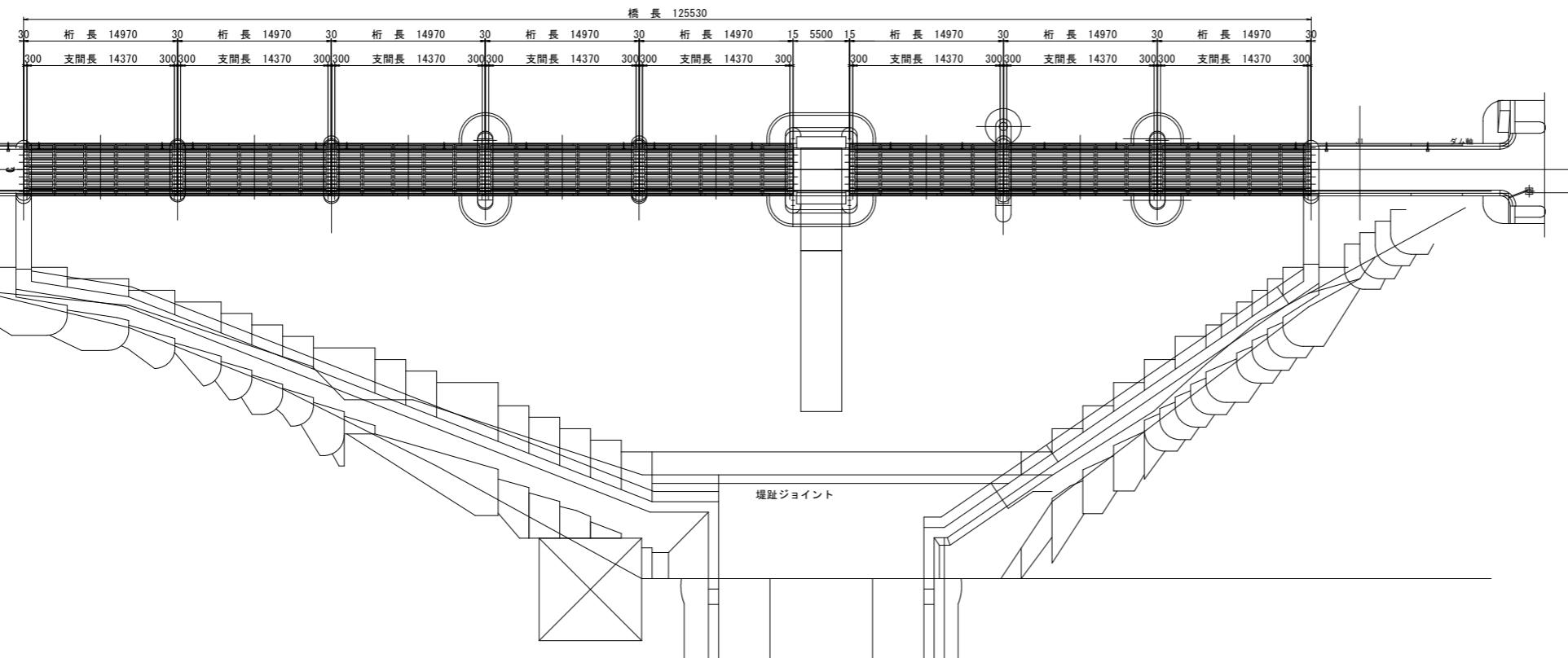


橋梁耐震補強一般図 S=1:300

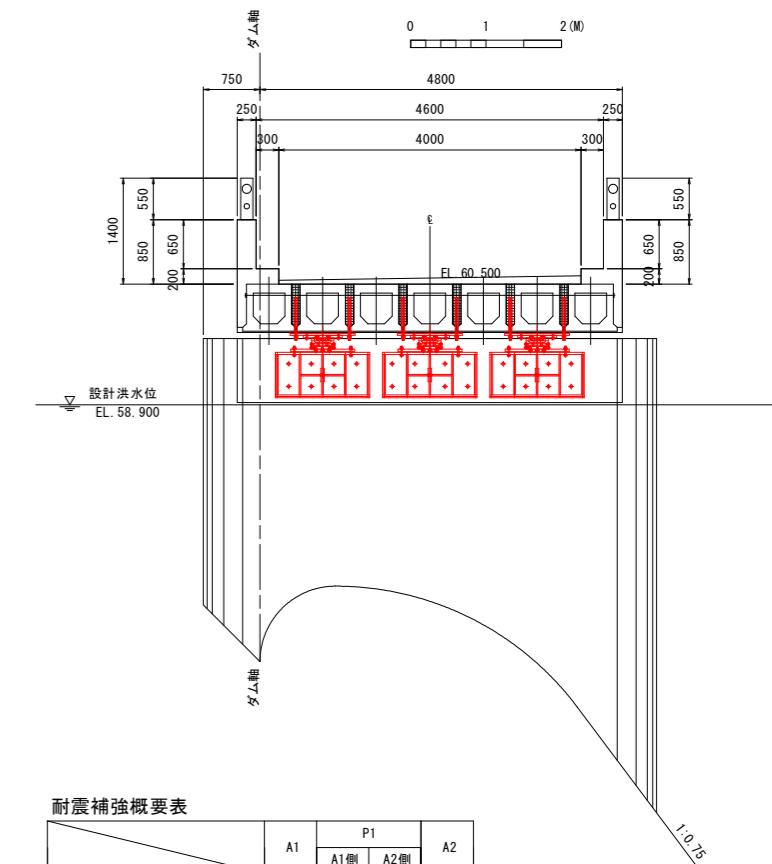
側面図



平面圖



標準断面図 S=1:50



耐震補強概要表	A1	P1		A2
		A1側	A2側	
		6基	6基	
落橋防止構造	-	6基	6基	-
水平力分担構造	-	6基	6基	-
ダンパー	-	-	-	-
既設アンカーバー(Φ38)切断工	-	-	-	-

補修項目

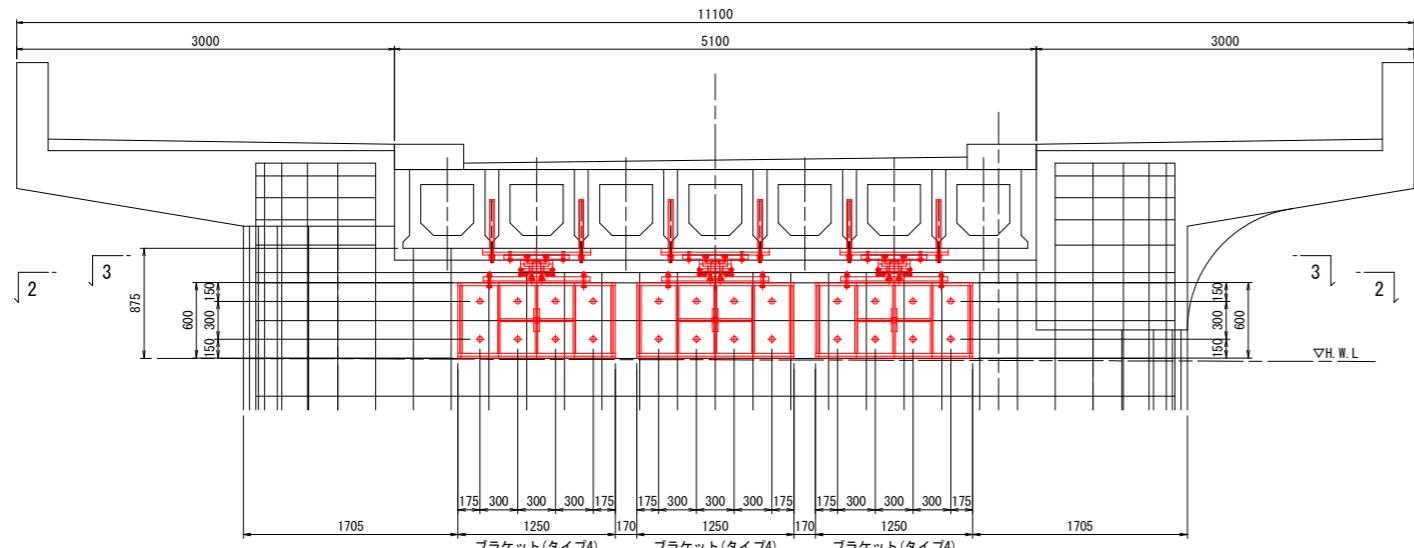
項目・規格	単位	数量
上部工：ひびわれ補修工	m	4.5
上部工：断面修復工	m2	0.06
下部工：ひびわれ補修工	m	1.9
下部工：断面修復工	m2	0.03
支承：支承補修工	箇所	-
伸縮装置：伸縮装置取替工	m	-

福井ダム管理橋 実施設計図面

工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	福井ダム		
工事箇所	阿南市福井町裂設		
図面名	橋梁耐震補強一般図		
縮尺	S=1:300	図面番号	1 / 18
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)		

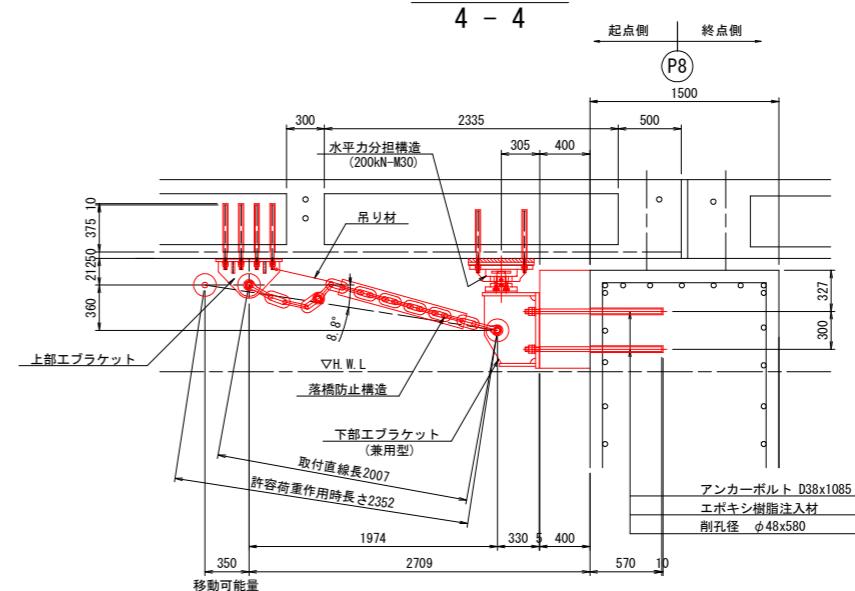
橋梁耐震補強計画図(その7)

正面図 S=1:30



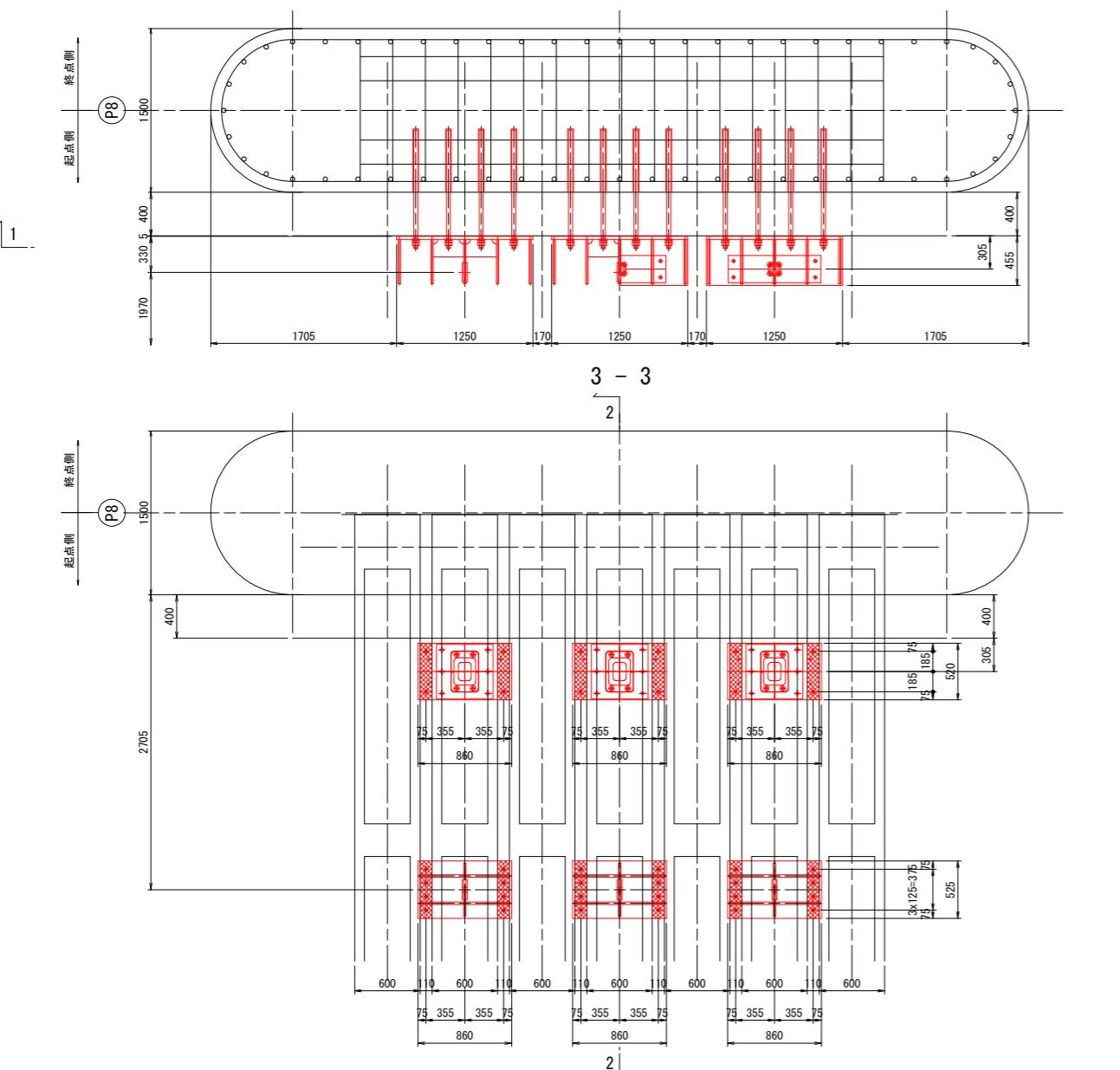
<P8橋脚起点側 設置図>

側面図 S=1:30

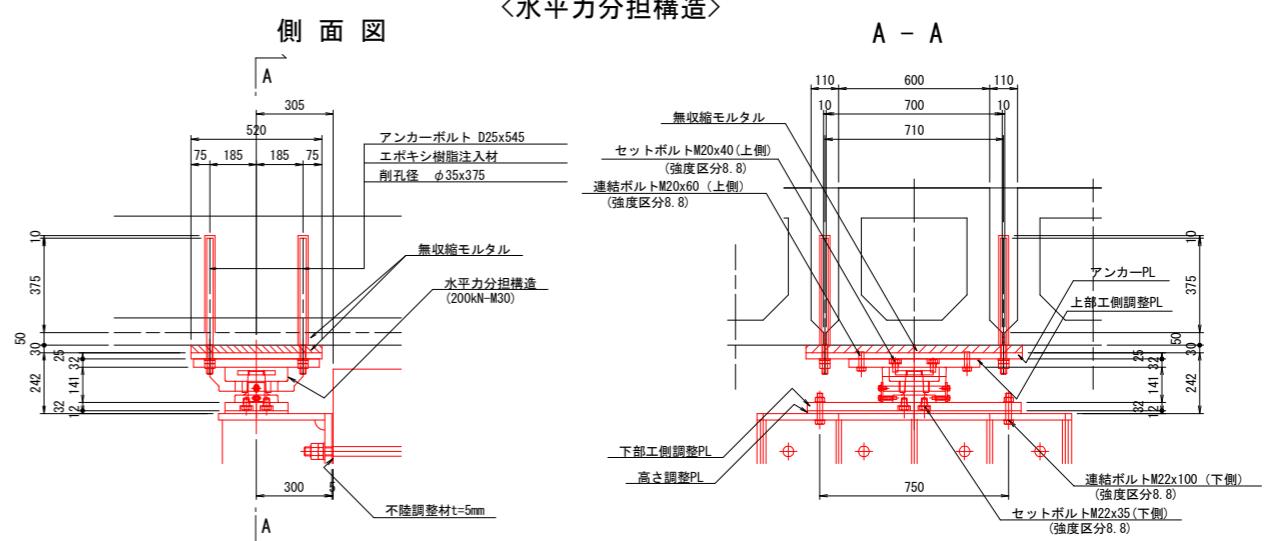


※. 吊り材
1-ステンレス ワイヤーφ2(1~2m程度)
1-ステンレス ネジヤックル
2-ステンレス ワイヤークリップ

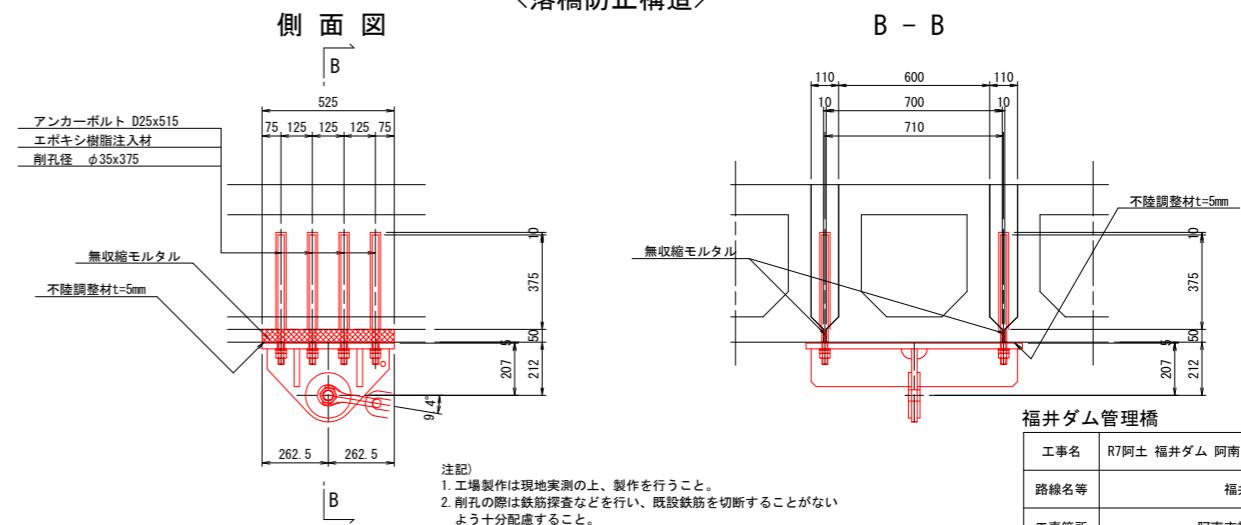
平面図 S=1:30



取付詳細図 S=1:15



<落橋防止構造>



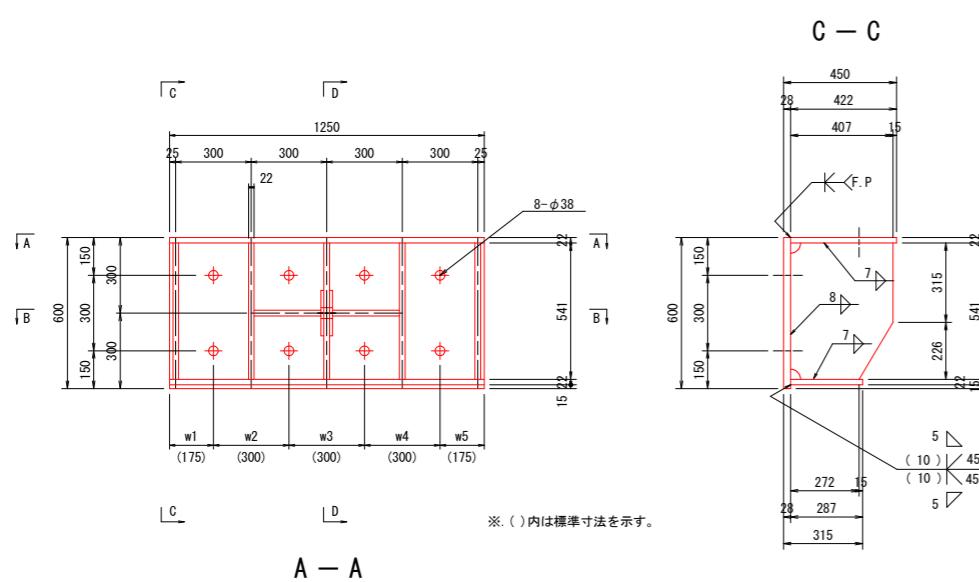
注記
1.工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
2.削孔の際は鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断しないこと。
3.下部工側アンカーワークは既設躯体より、15φ(φ:アンカーワーク)
以上を確保すること。上部工側アンカーワークは、コンクリート充填部分
に15φ(φ:アンカーワーク)以上を確保すること。
4.鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HD55とする。
但し、ボルト・ナット類はHD235とする。
5.水平力分担構造(せんぶんたくこうぞう)は繩物とすること。
繩ハーネス(ハーネス)は低反発成型ゴムであること。
6.落橋防止装置(落橋防止装置)は納入前に完成形(ゴム被覆)にて引張試験等
を実施し、所定の耐震性能を確認すること。

福井ダム管理橋 実施設計図面	
工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事
路線名	福井ダム
工事箇所	阿南市福井町製設
図面名	橋梁耐震補強計画図(その7)
縮尺	図示 図面番号 2 / 18
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁)

橋梁耐震補強計画図(その8) S=1:15

〈P8橋脚起点側 水平力分担構造加工図〉

下部工側 ブラケット



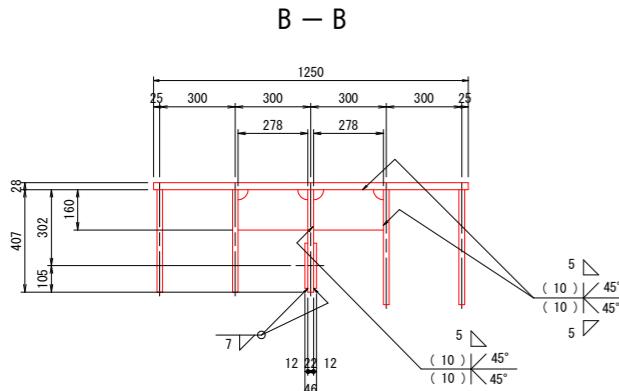
※. ()内は標準寸法を示す

寸法表	w1	w2	w3	w4	w5	n
タイプ4	175	300	300	300	175	3

```

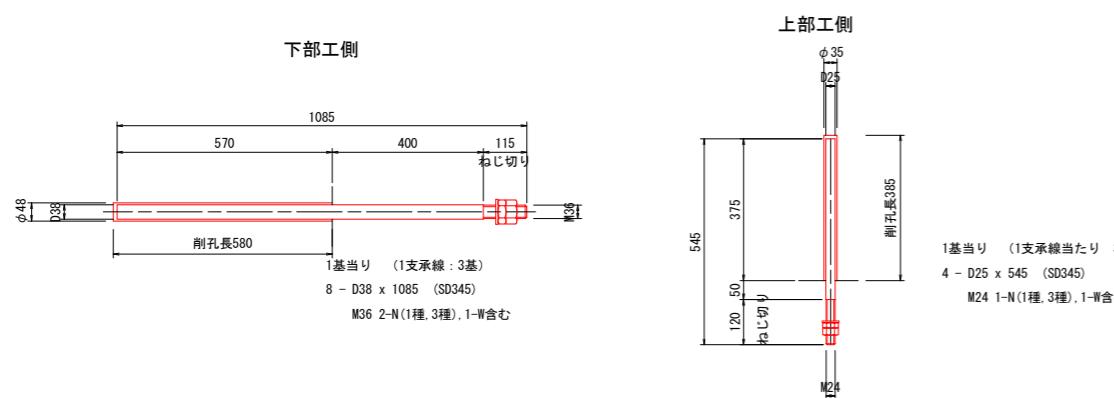
1 基当り(1支承線 : 3基)
  1 - UFlg PL 422x22x1250 (SM490A)
  1 - LFlg PL 287x22x1250 (SM490A)
  1 - Base PL 600x28x1250 (SM490YB)
  4 - Rib PL 407x22x 541 (net:0.9)
  1 - Top PL 407x22x 541 (SM490A) (net:0.9)
  2 - Ring PL 180x12x 180 (SM490A)
  2 - Rib PL 160x22x 278 (SM490A)

```

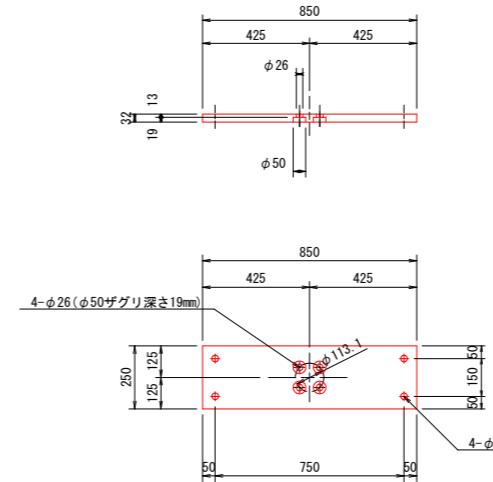


アンカーボルト詳細図

S=1:1

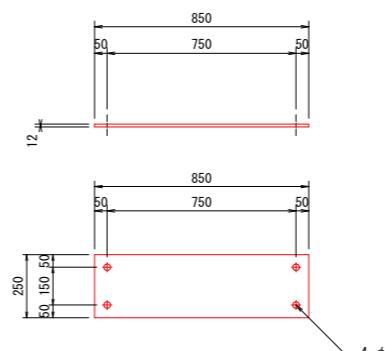


PL調整側工部



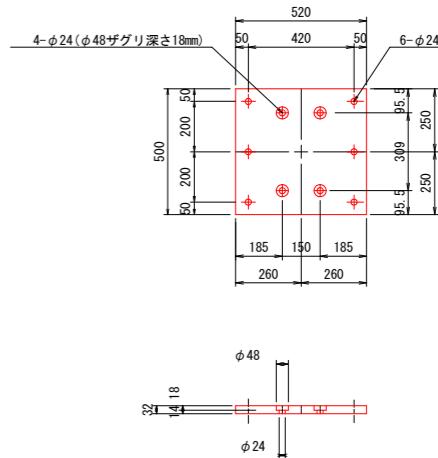
1基当り (1支承線:3基)
1-PL 250 x 32 x 850 (SM490YB)
4-連結ボルト M22x 100 (1-N, 2W) (強度区分8.8)

高さ調整PL



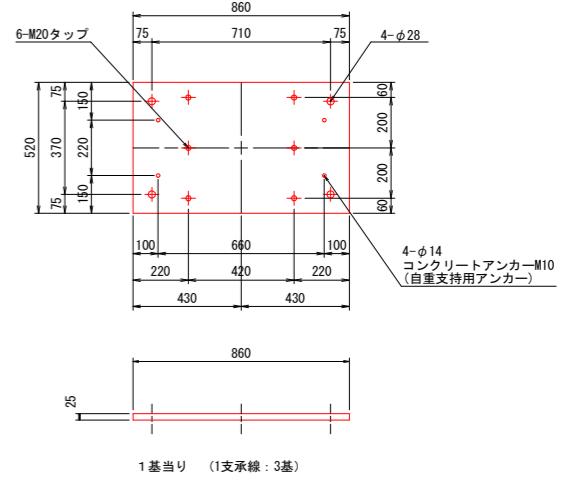
1基当たり (1支承線: 3基)

上部工側調整PL



1基当り (1支承線: 3基)
1- PL 500 x 32 x 520 (SS400)
6- 連結ボルト M20x60 (1-W) (強度区分8.8)

上部工側アンカーPL



1基当たり (1支承線: 3基)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカラップは全て40Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
5. 中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶込み開先溶接を記す。

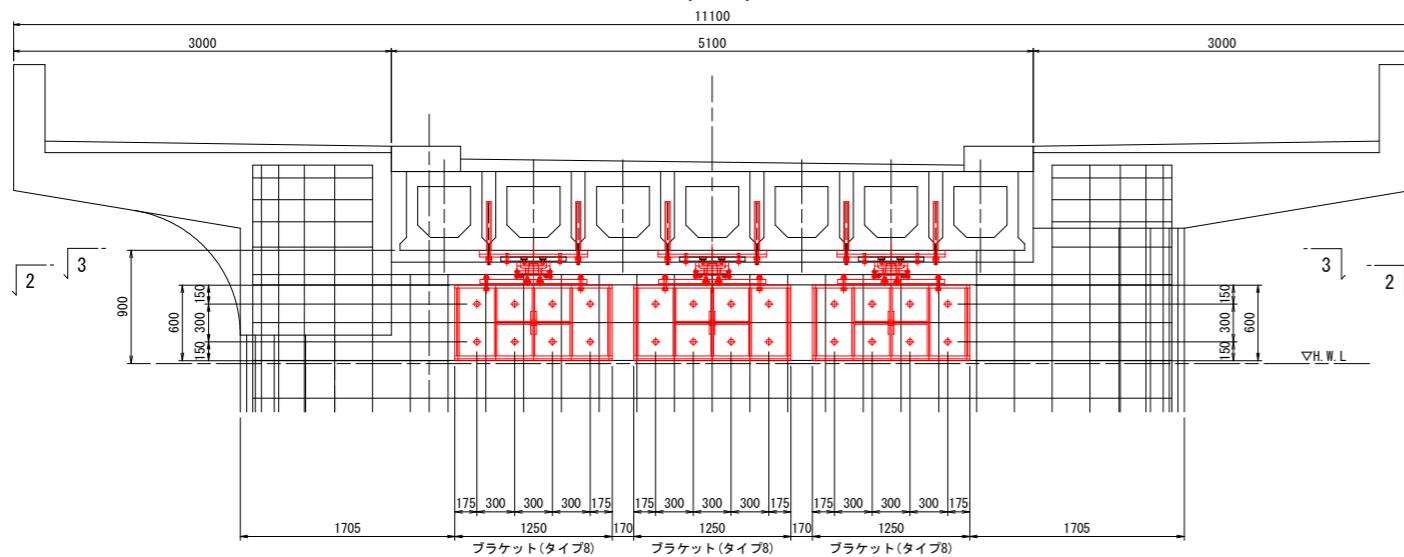
福井ダム管理橋

実施設計図面

工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	福井ダム		
工事箇所	阿南市福井町裂股		
図面名	橋梁耐震補強計画図(その8)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 18
会社名			
事業者名	徳島県南部合併県民局 県土整備部(阿南庁舎)		

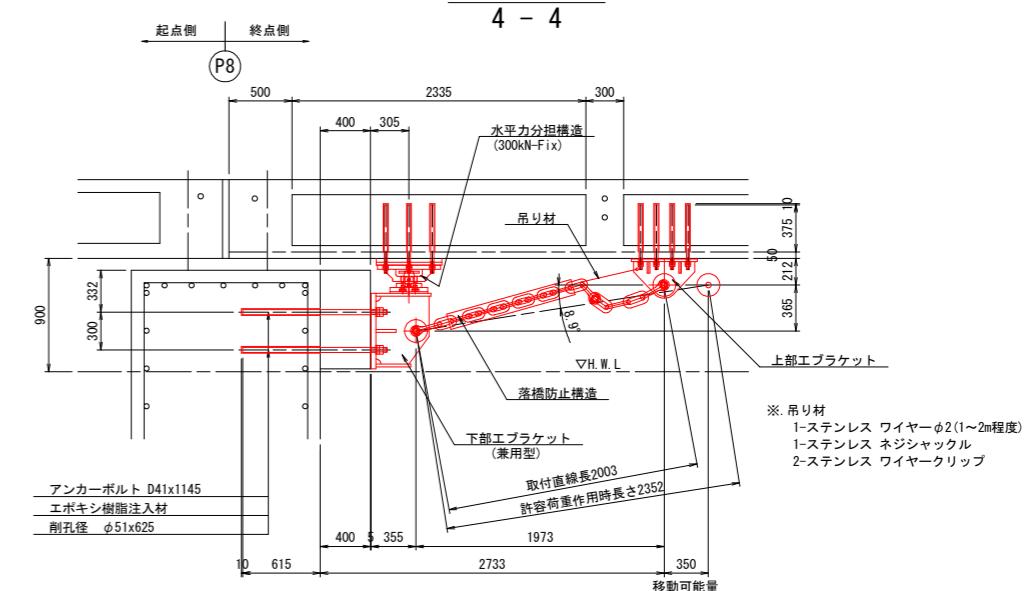
橋梁耐震補強計画図(その9) S=1:30

正面図

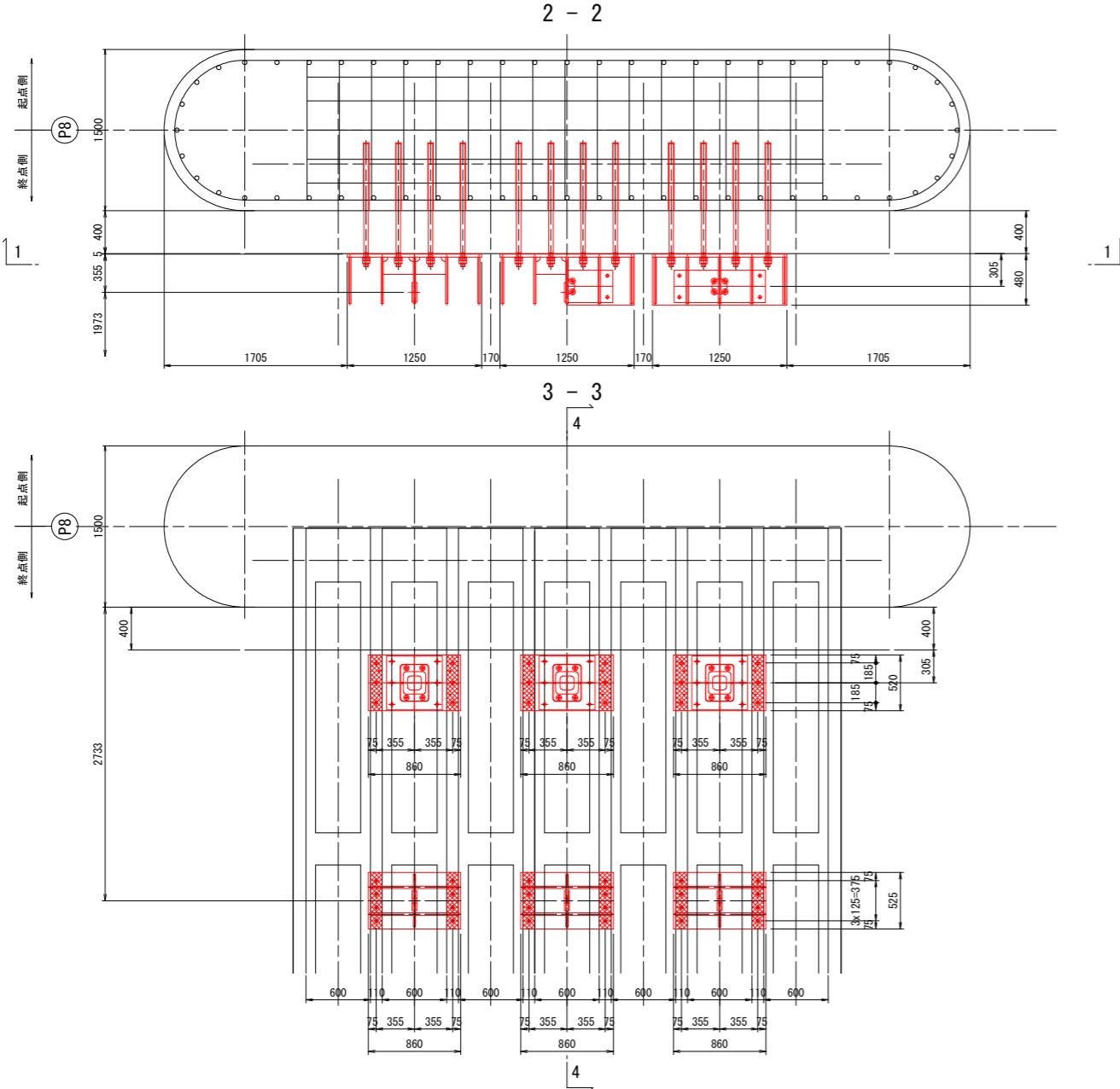


<P8橋脚終点側 設置図>

側面図



平面図



2-2

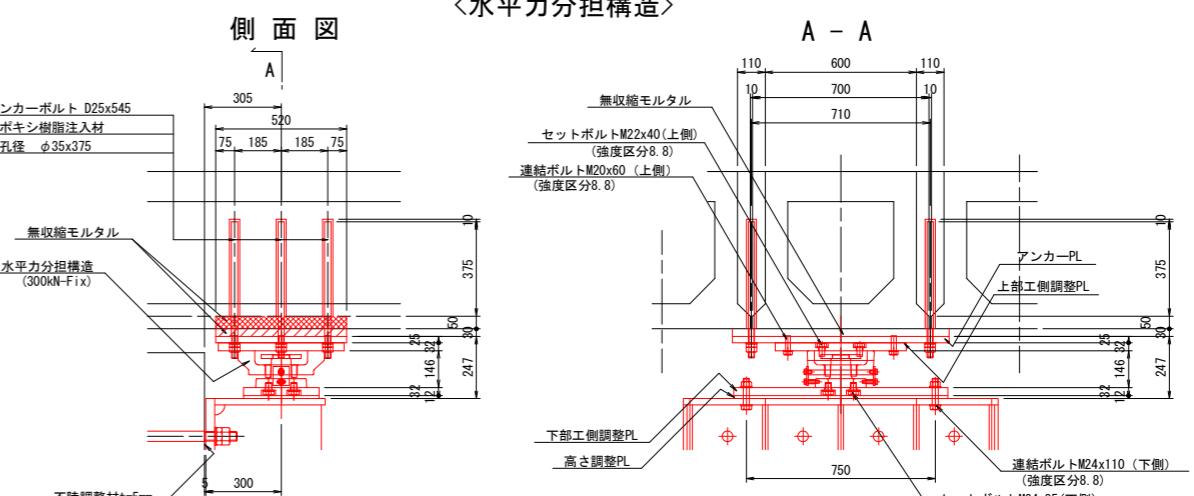
3-3

4

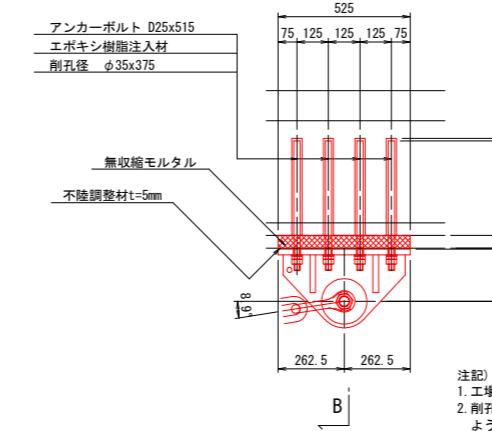
4

取付詳細図 S=1:15

<水平力分担構造>



側面図



<落橋防止構造>

B-B

福井ダム管理橋 実施設計図面	
工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事
路線名等	福井ダム
工事箇所	阿南市福井町製設
図面名	橋梁耐震補強計画図(その9)
縮尺	図示
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁)

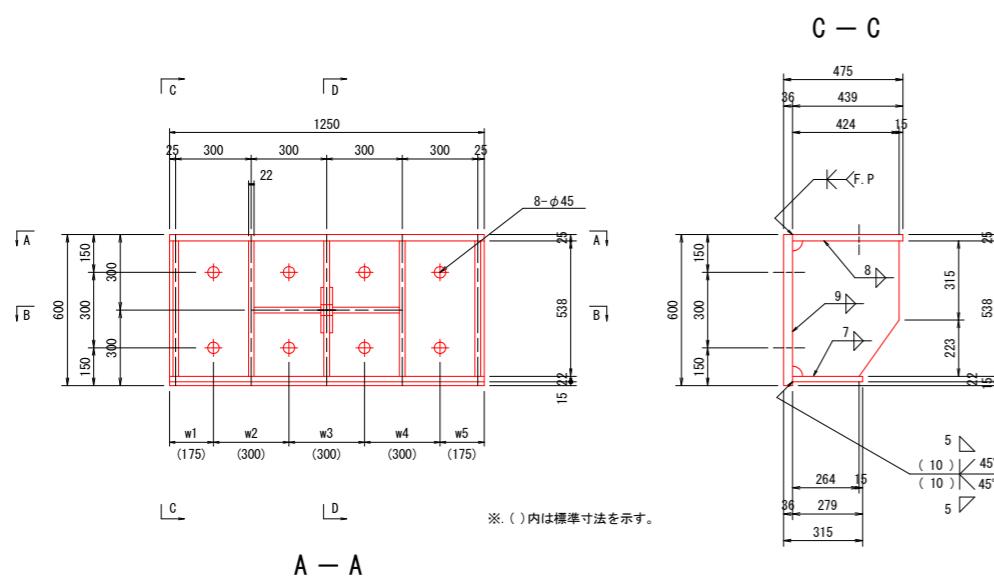
注記

- 1.工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
- 2.削孔の際は鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することがないよう十分配慮すること。
- 3.下部工側アンカーフィットは既設軸体より、15φ（φ：アンカーフィット）以上を確保すること。上部工側アンカーフィットは、コンクリート充填部分に15φ（φ：アンカーフィット）以上を確保すること。
- 4.水平力分担構造(せんごくせんじゆう)はJIS H 8641 HD55とする。但し、ボルト・ナット類はHD25とする。
- 5.水平力分担構造(せんごくせんじゆう)は接着物とすること。
- 6.落橋防止装置(緩衝チエーン)は納入前に完成形(ゴム被覆)にて引張試験等を実施し、所定の耐震性能を確認すること。

橋梁耐震補強計画図(その10) s=1:15

〈P8橋脚終点側 水平力分担構造加工図〉

下部工側 ブラケット



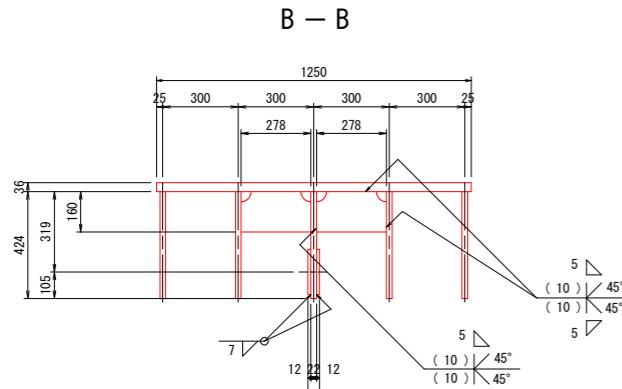
※()内は標準寸法を示す

寸法表						
	w1	w2	w3	w4	w5	n
タイプ8	175	300	300	300	175	3

```

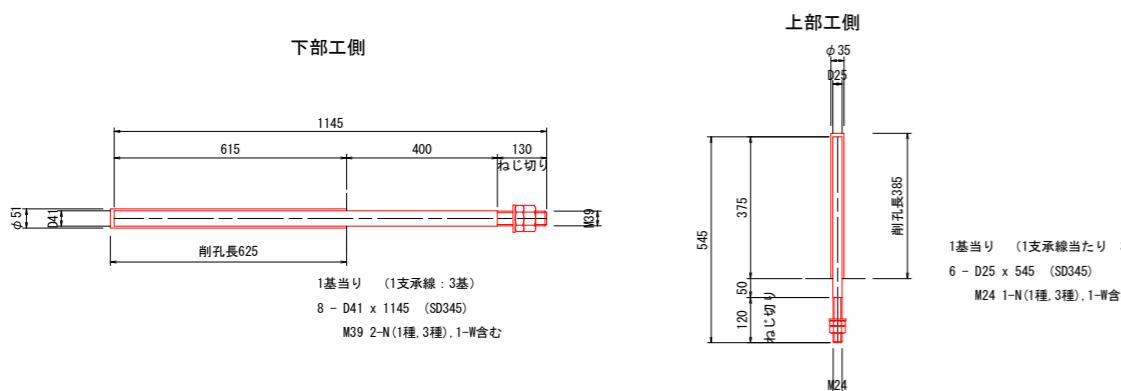
1 基当り(1支承線 : 3基)
  1 - UFig PL 439x25x1250 (SM490YB)
  1 - LFig PL 279x22x1250 (SM490A)
  1 - Base PL 600x36x1250 (SM490YB)
  4 - Rib PL 424x22x 538 (net:0.9)
  1 - Top PL 424x22x 538 (SM490A) (net:0.9)
  2 - Ring PL 180x12x 180 (SM490A)
  2 - Rib PL 160x22x 278 (SM490A)

```



アンカーボルト詳細図

S=1:1



下部工側

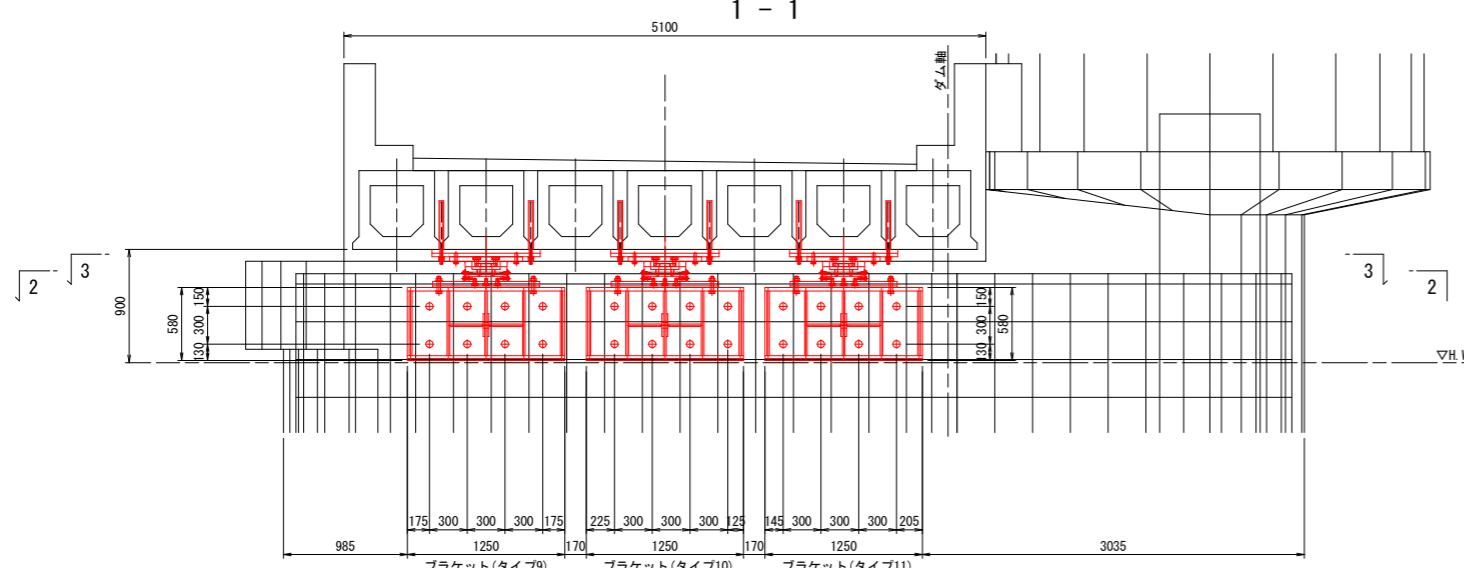
上部工作

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカラップは全て40Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. 図中の溶接記号の特別指示事項「FP」は、完全溶込開先溶接を記す。

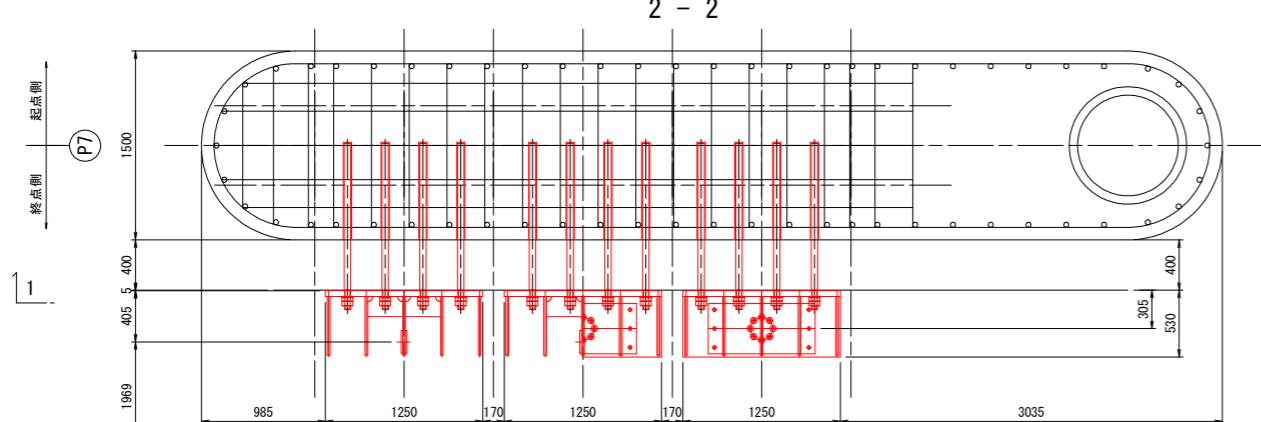
福井ダム管理橋		実施設計図面
工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事	
路線名等	福井ダム	
工事箇所	阿南市福井町裂股	
図面名	橋梁耐震補強計画図(その10)	
縮尺	図示	図面番号 5 / 18
会社名		
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	

橋梁耐震補強計画図(その17) s=1:30

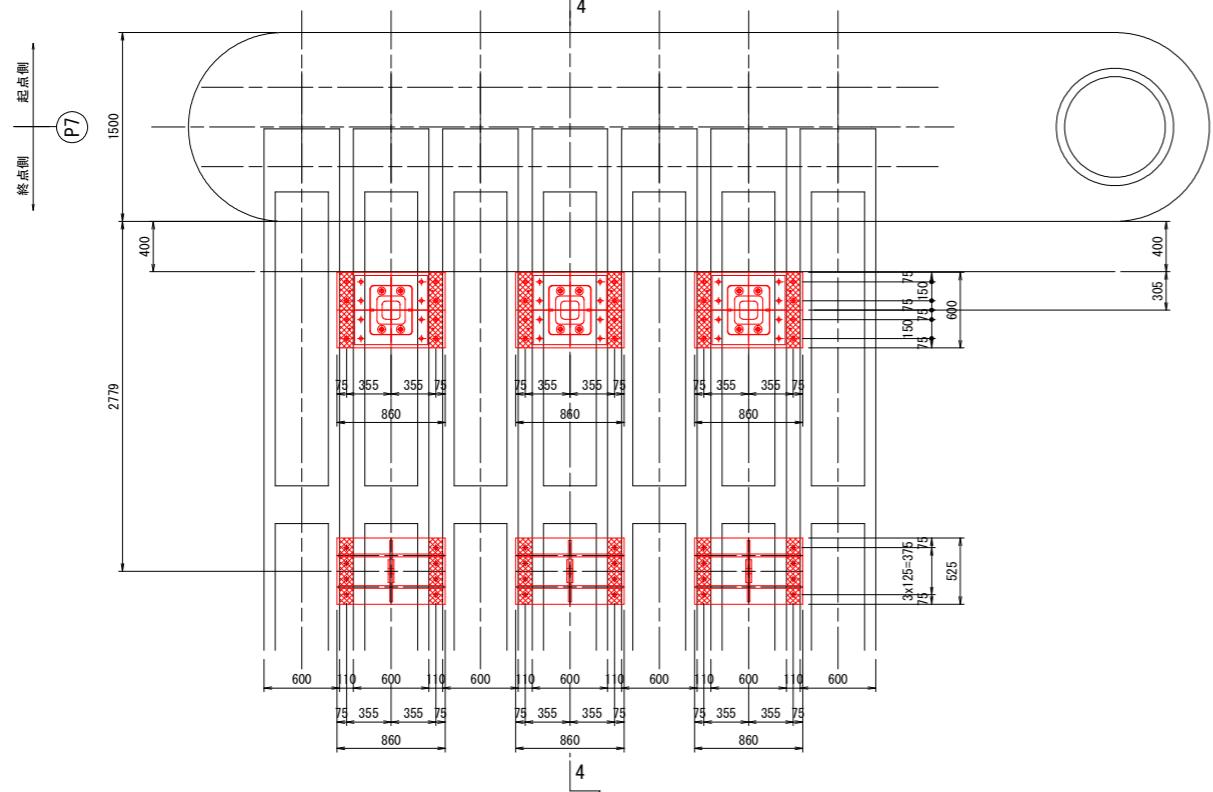
正面図



平面図

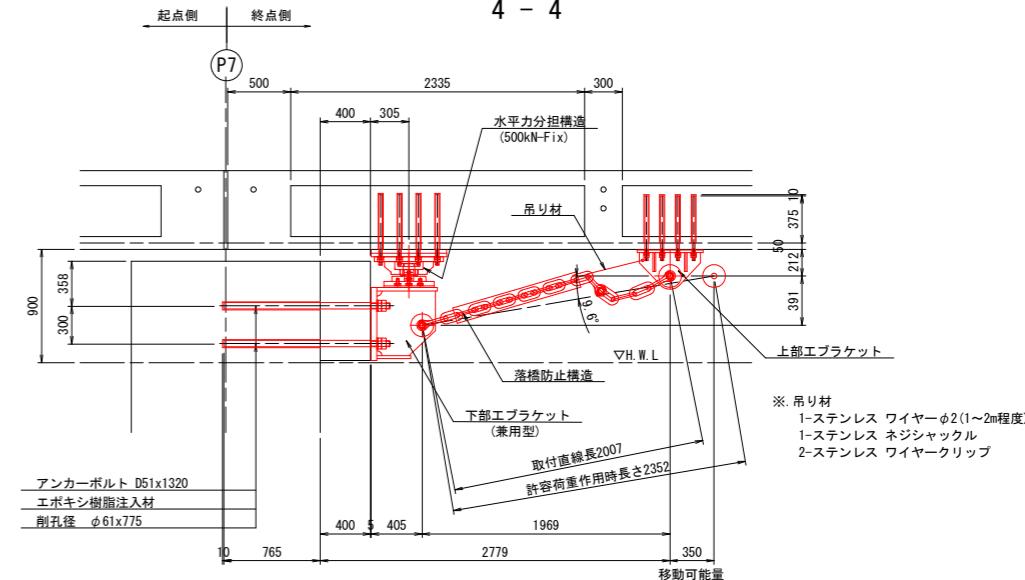


3 -



〈P7橋脚終点側 設置図〉

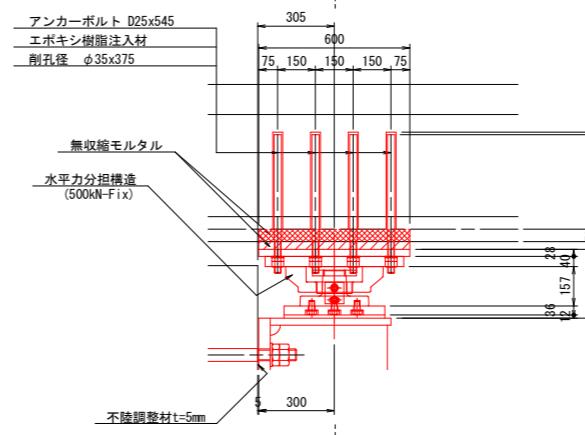
側面図



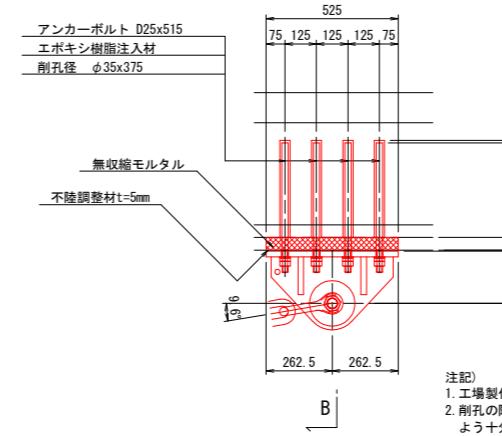
取付詳細図 S=1:15

〈水平力分担構造〉

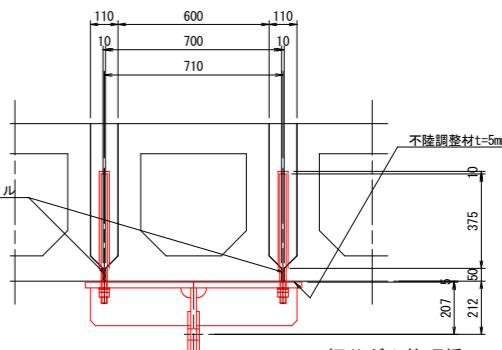
側面図



側面図



B - E



注記)

- 1.工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
- 2.削孔の際は鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することがない
よう十分配慮すること。
- 3.下部工側アンカー定着は既設躯体より、15φ（φ：アンカー径）
以上を確保すること。上部工側アンカー定着は、コンクリート充填部分
に15φ（φ：アンカー径）以上を確保すること。
- 4.鋼材は溶接歪鉛めき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZ5とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
- 5.水平力分担構造（せん断耐スッパー）は鉛物とすること。
綫衝バッキンは低反発型合成ゴムであること。
- 6.落橋防止装置（緩衝チエー）は納入前に完成形（ゴム被覆）にて引張試験等
を実施し、所定の耐性能を確認すること。

福井ダム管理橋

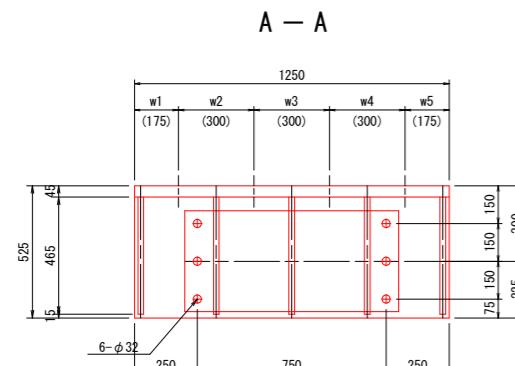
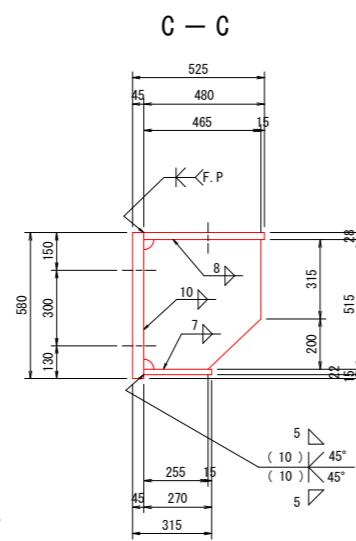
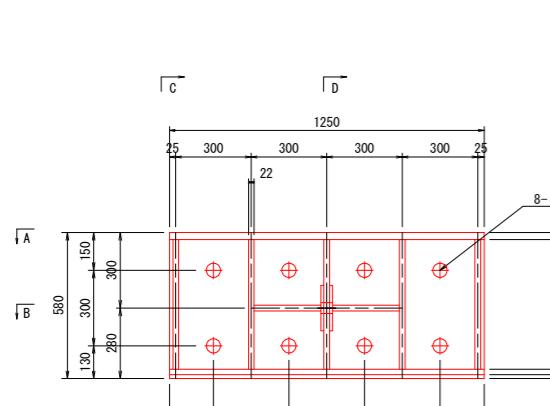
実施設計図面

工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	福井ダム		
工事箇所	阿南市福井町裂股		
図面名	橋梁耐震補強計画図(その17)		
縮尺	図示	図面番号	6 / 18
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)		

橋梁耐震補強計画図(その18) S=1:15

〈P7橋脚終点側 水平力分担構造加工図〉

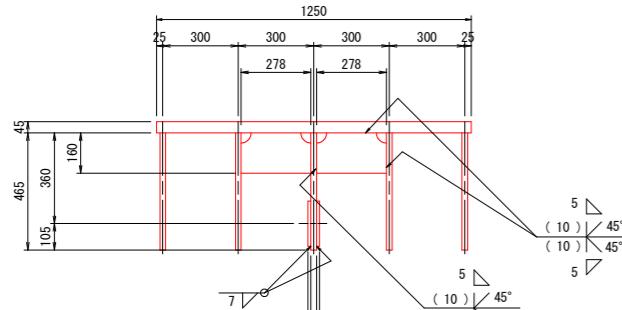
下部工側 ブラケット



寸法表		w1	w2	w3	w4	w5	n
タイプ9	175	300	300	300	175	1	
タイプ10	225	300	300	300	125	1	
タイプ11	145	300	400	300	205	1	

1基当り(1支承線:3基)
 1 - UFlg PL 480x28x1250 (SM490YB)
 1 - LFlg PL 270x22x1250 (SM490A)
 1 - Base PL 580x45x1250 (SM520C)
 4 - Rib PL 465x22x 515 (net:0.91)
 1 - Top PL 465x22x 515 (SM490A) (net:0.91)
 2 - Ring PL 180x12x 180 (SM490A)
 2 - Rib PL 160x22x 278 (SM490A)

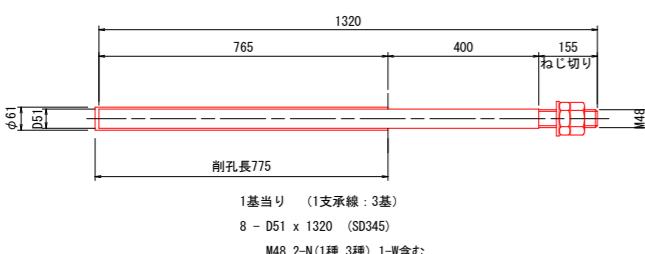
B - B



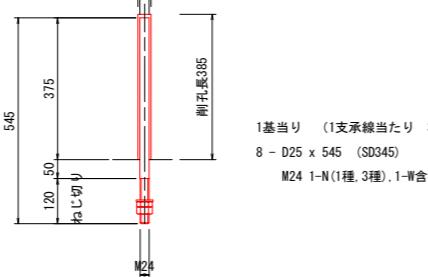
アンカーボルト詳細図

S=1:10

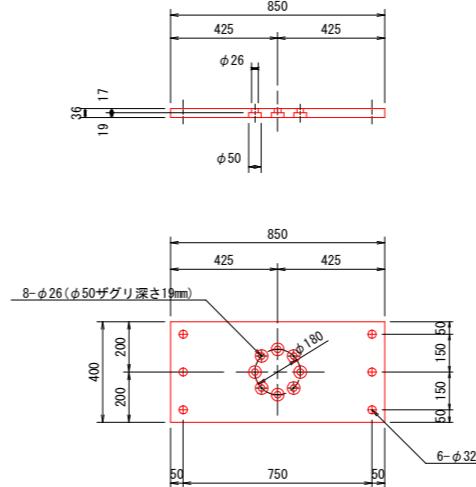
下部工側



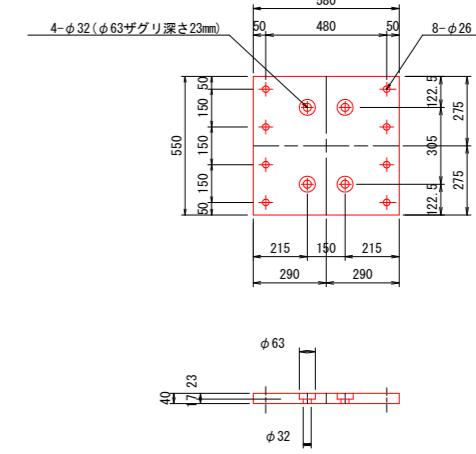
上部工側



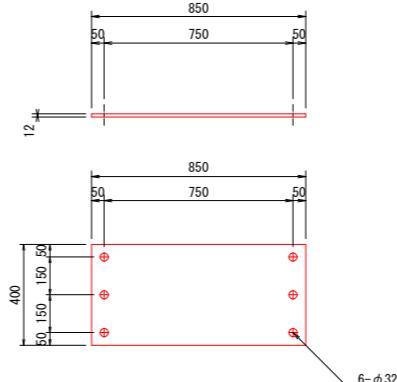
下部工側調整PL



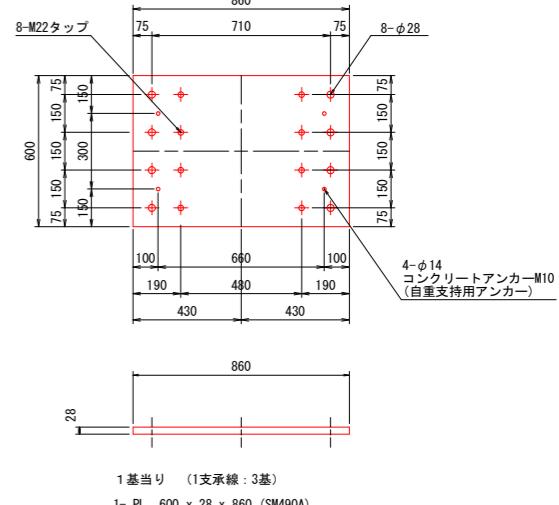
上部工側調整PL



高さ調整PL



上部工側アンカーパーPL



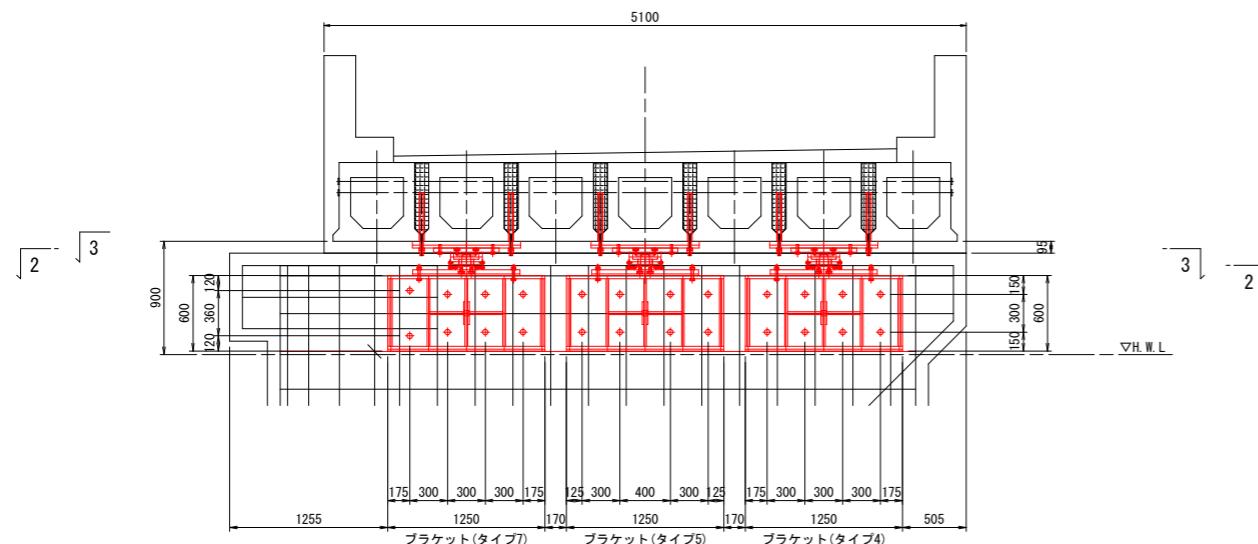
注記)
 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラップは全て40Rとする。
 3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。
 5. 但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 6. 図中の溶接接合の特別指示事項「FP」は、完全溶込み開先接合を記す。

福井ダム管理橋 実施設計図面	
工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事
路線名等	福井ダム
工事箇所	阿南市福井町製設
図面名	橋梁耐震補強計画図(その18)
縮尺	図示
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁)

橋梁耐震補強計画図(その19) S=1:30

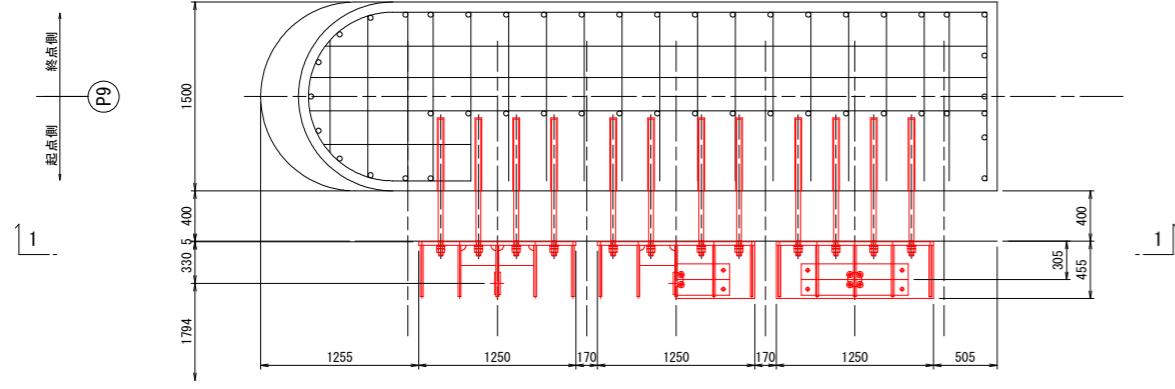
正面図

1 -

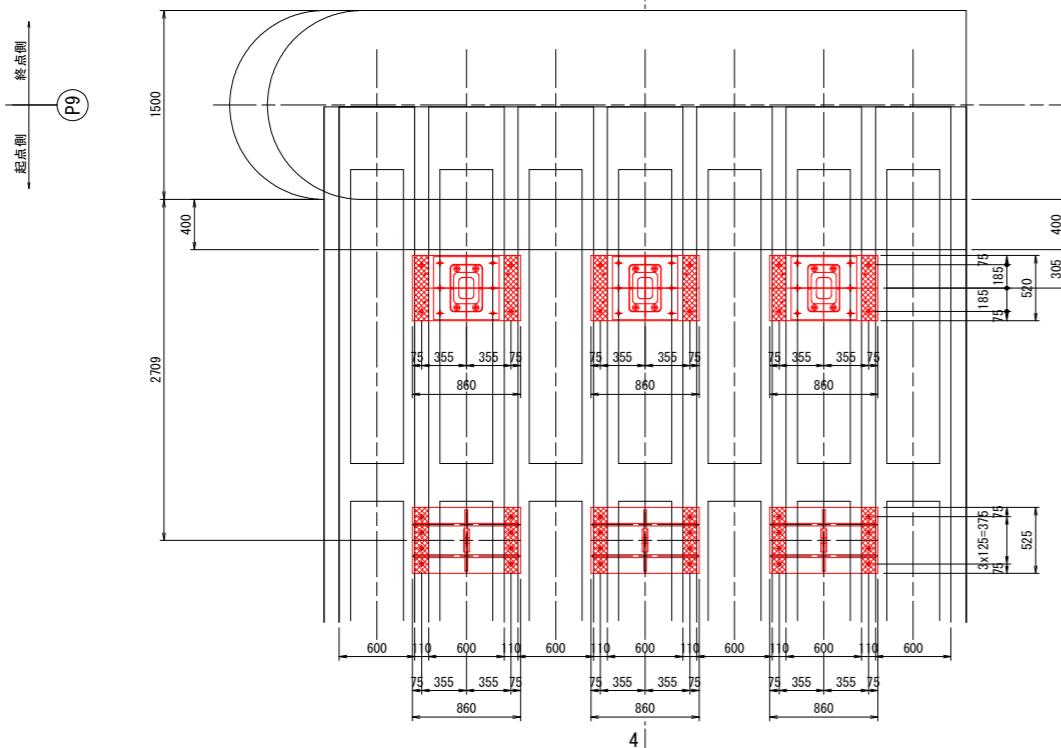


平面 図

2 -



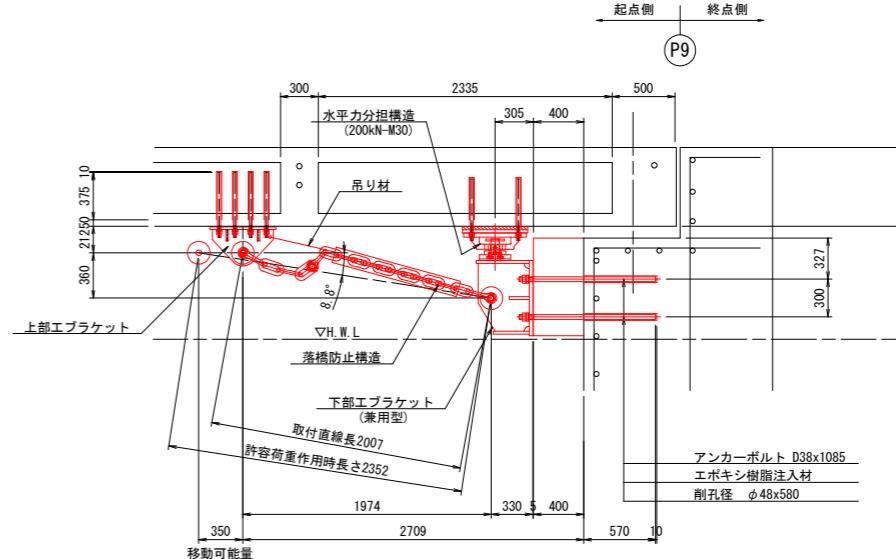
3 -



〈P9橋脚起点側 設置図〉

側面図

4 -

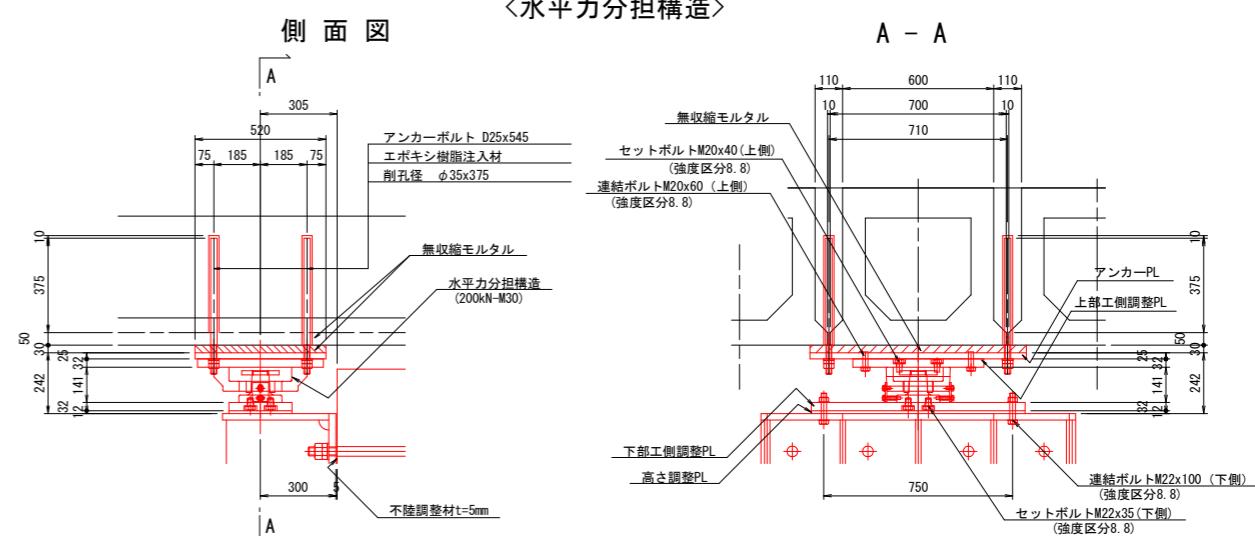


※. 吊り材
1-ステンレス ワイヤー ϕ 2(1~2m程度)
1-ステンレス ネジシャックル
2-ステンレス ワイヤークリップ

取付詳細図 S=1:15

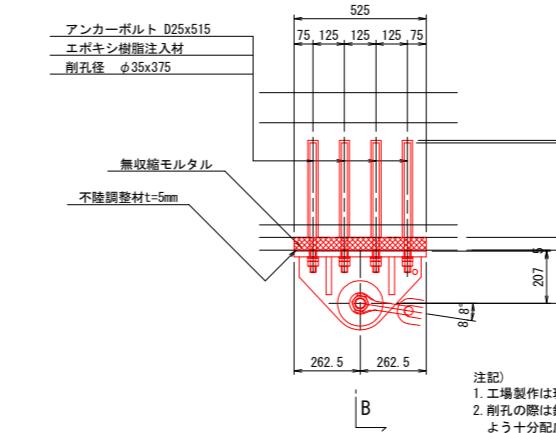
〈水平力分担構造〉

A - A



〈落橋防止構造〉

側面図



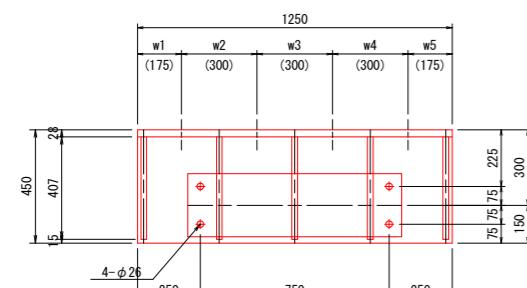
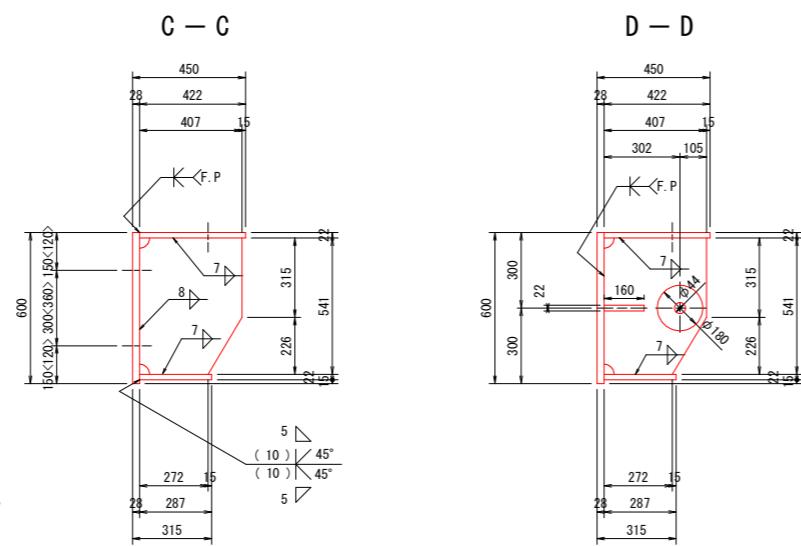
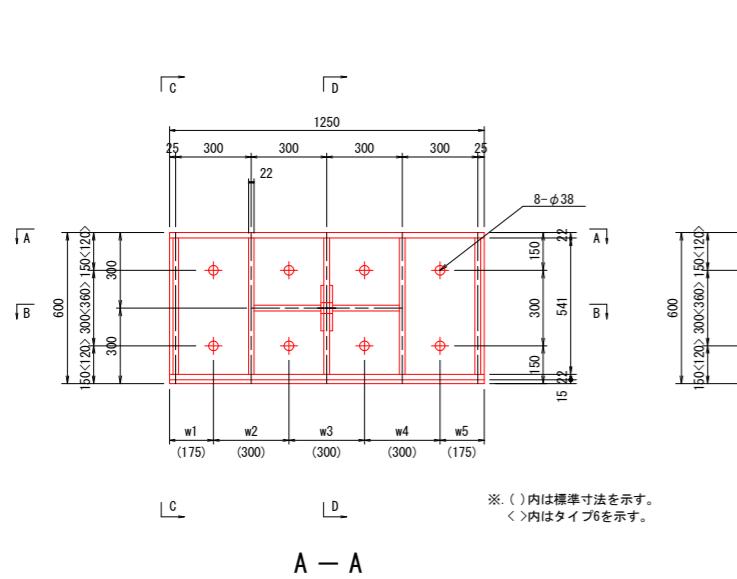
記)
工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。
削孔の際は鉄筋探査などを行い、既設鉄筋を切断することがない
よう十分配慮すること。
下部工側アンカー定着は既設ボルトにより、15φ（φ：アンカー径）
以上を確保すること。上部工側アンカー定着は、コンクリート充填部分
に15φ（φ：アンカー径）以上を確保すること。
織物は溶接垂め込み仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
水平力分担構造（せん断ストッパー）は鉄骨とすること。
緩衝パッキンは低発熱型合成ゴムであること。
落橋防止装置（緩衝アーチ等）は納入前に完成形（ゴム被覆）にて引張試験等
を実施し、所定の耐力性能を確認すること。

福井ダム管理橋		実施設計図面		
工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事			
路線名等		福井ダム		
工事箇所		阿南市福井町裂股		
図面名		橋梁耐震補強計画図(その19)		
縮尺	図示	図面番号	8	/ 18
会社名				
事業者名	徳島県南部総合課民局 県土整備部(阿南庁舎)			

橋梁耐震補強計画図(その20) S=1:15

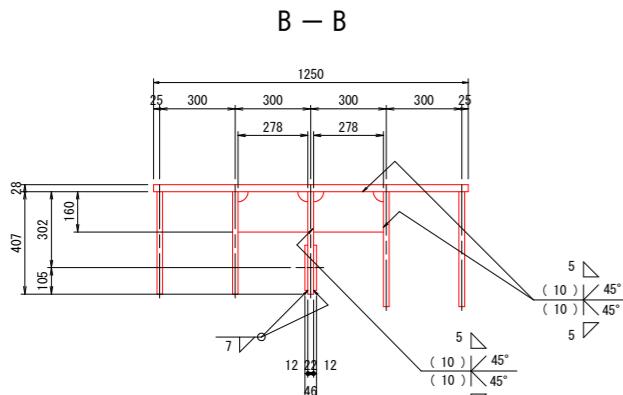
〈P9橋脚起点側 水平力分担構造加工図〉

下部工側 ブラケット

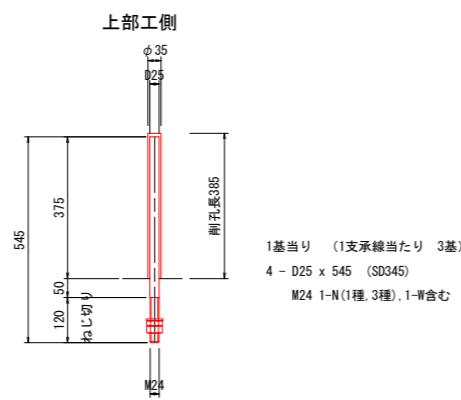
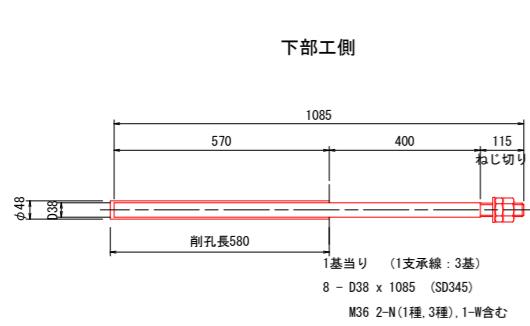


寸法表	w1	w2	w3	w4	w5	n
タイプ4	175	300	300	300	175	1
タイプ5	125	300	400	300	125	1
タイプ7	175	300	300	300	175	1

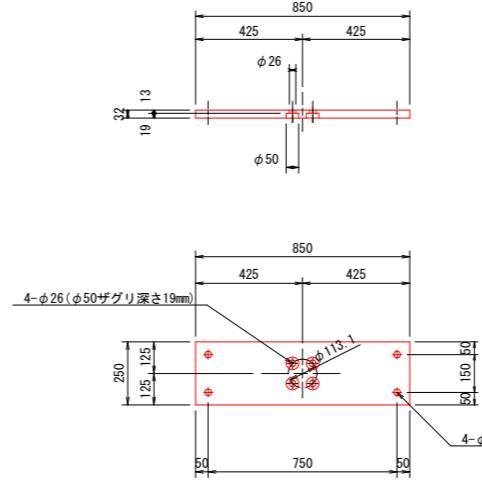
1基当り(1支承線:3基)
 1 - UFig PL 422x22x1250 (SM490A)
 1 - LFig PL 287x22x1250 (SM490A)
 1 - Base PL 600x28x1250 (SM490YB)
 4 - Rib PL 407x22x 541 (net:0.93)
 1 - Top PL 407x22x 541 (SM490A) (net:0.93)
 2 - Ring PL 180x12x 180 (SM490A)
 2 - Rib PL 160x22x 278 (SM490A)



アンカーボルト詳細図 S=1:10

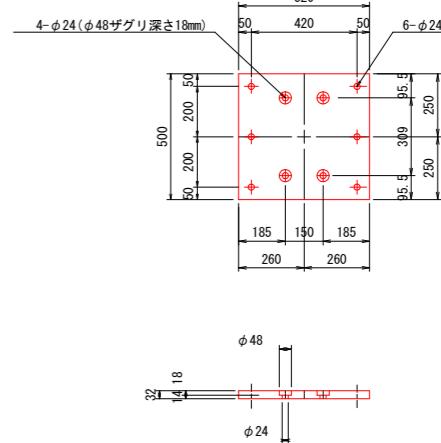


下部工側調整PL



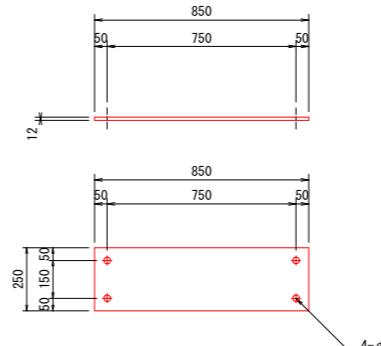
1基当り (1支承線:3基)
 1-PL 250 x 32 x 850 (SM490YB)
 4-連結ボルト M22x 100 (1-N, 2W) (強度区分8.8)

上部工側調整PL



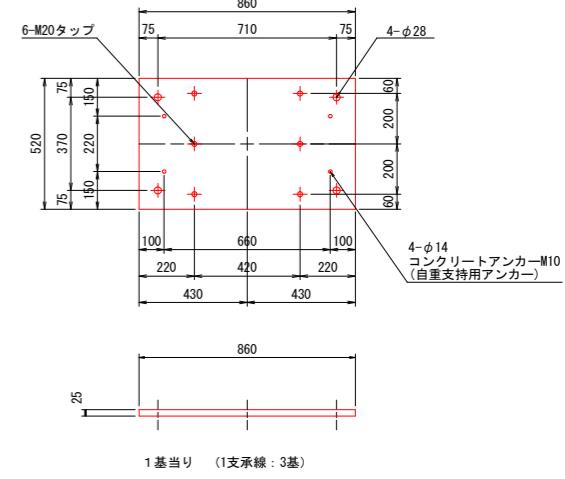
1基当り (1支承線:3基)
 1-PL 500 x 32 x 520 (SS400)
 6-連結ボルト M20x60(1-N) (強度区分8.8)

高さ調整PL



1基当り (1支承線:3基)
 1-PL 250 x 12 x 850 (SS400)

上部工側アンカーブル



1基当り (1支承線:3基)
 1-PL 520 x 25 x 860 (SM490A)

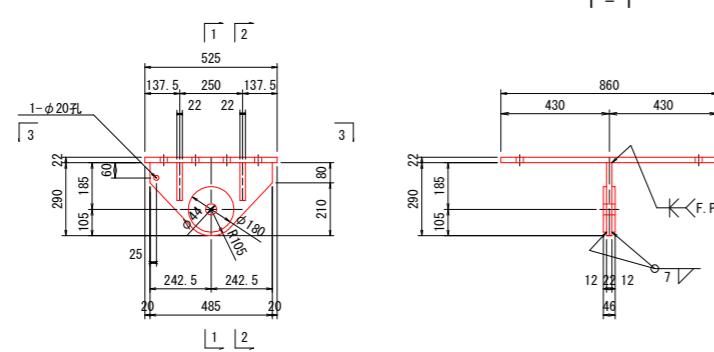
注記)
 1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 2. 特記なきスカラップは全て40Rとする。
 3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。
 但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
 5. 図中の溶接接合の特別指示事項「FP」は、完全溶込開先溶接を記す。

福井ダム管理橋 実施設計図面	
工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事
路線名等	福井ダム
工事箇所	阿南市福井町製設
図面名	橋梁耐震補強計画図(その20)
縮尺	図示
会社名	
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁)

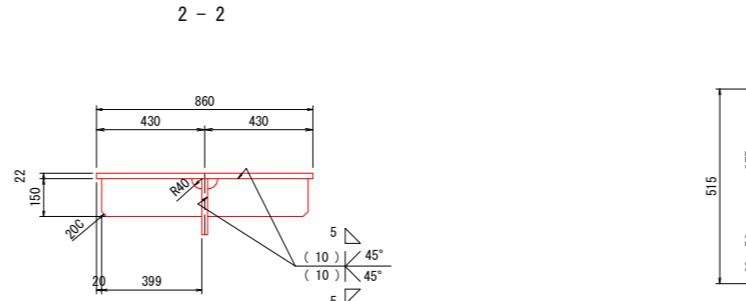
橋梁耐震補強計画図(その21)

〈P1～P9橋脚：落橋防止構造加工図〉

上部エラーブラケット加工図 S=1:15

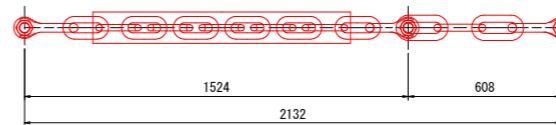
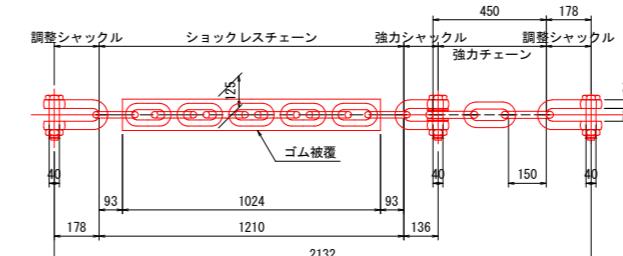


アンカーボルト詳細図 S=1:10



緩衝チェーン詳細図 S=1:15

(2型3リンク, 許容荷重 375kN)



1-ショックレスチェーン 2型 (SCM420H)

3-強力チェーンφ28(SCM420)

2-調整シネッキリ・Φ34(SCMM35)

2 調整ノットフルφ34(80M435)

I-強力シャツクルΦ34(SUM435)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490Aとする。
2. 特記なきスカーラップは全て40Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、
JIS H 8641 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. 図中の波形切欠きの特記無し箇所 [ED] は、完全波形開口接合を記す。

福井ダム管理橋 実施設計図面

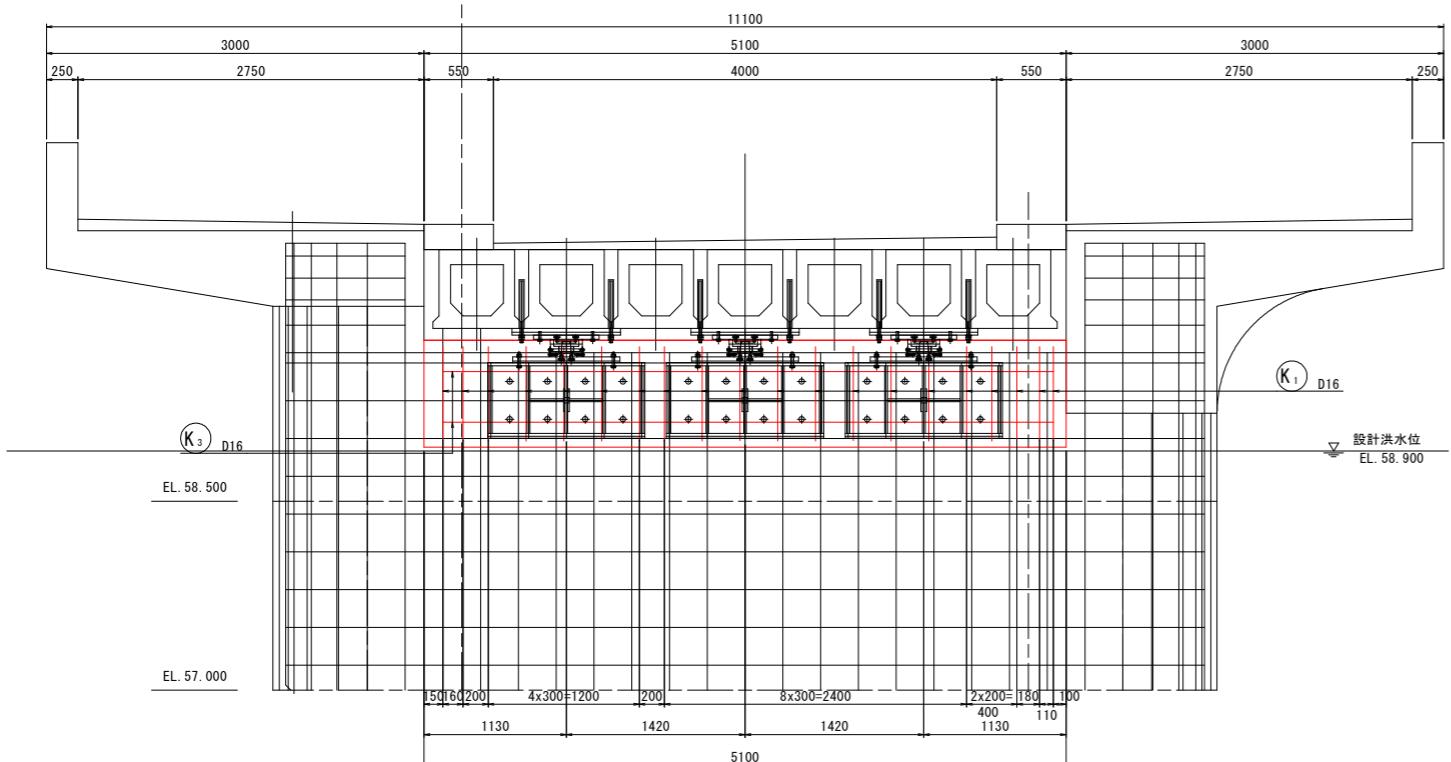
福井アム吉生工場		大改訂の圖面
工事名	R7阿土 福井アム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事	
路線名等		福井アム
工事箇所		阿南市福井町裂股
図面名	橋梁耐震補強計画図(その1)	
縮尺	図示	図面番号 10 / 18
会社名		
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	

橋梁耐震補強計画図(その25) S=1:30

〈P8橋脚 P7橋脚側〉

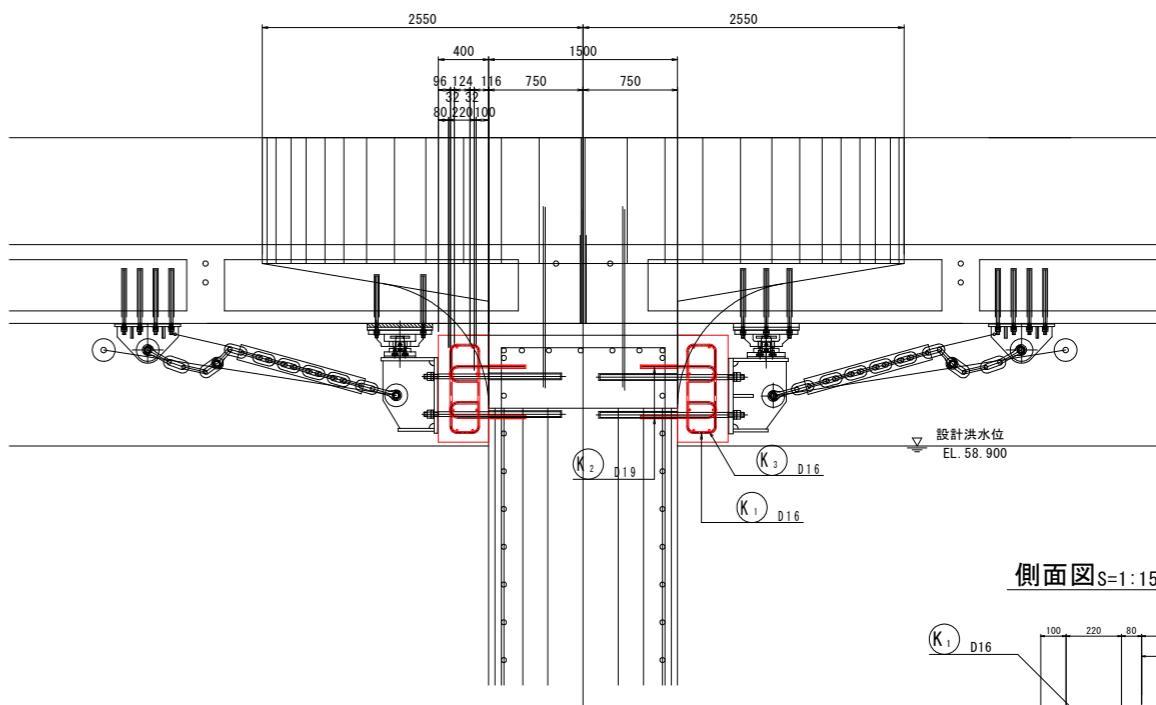
正面図

1 - 1

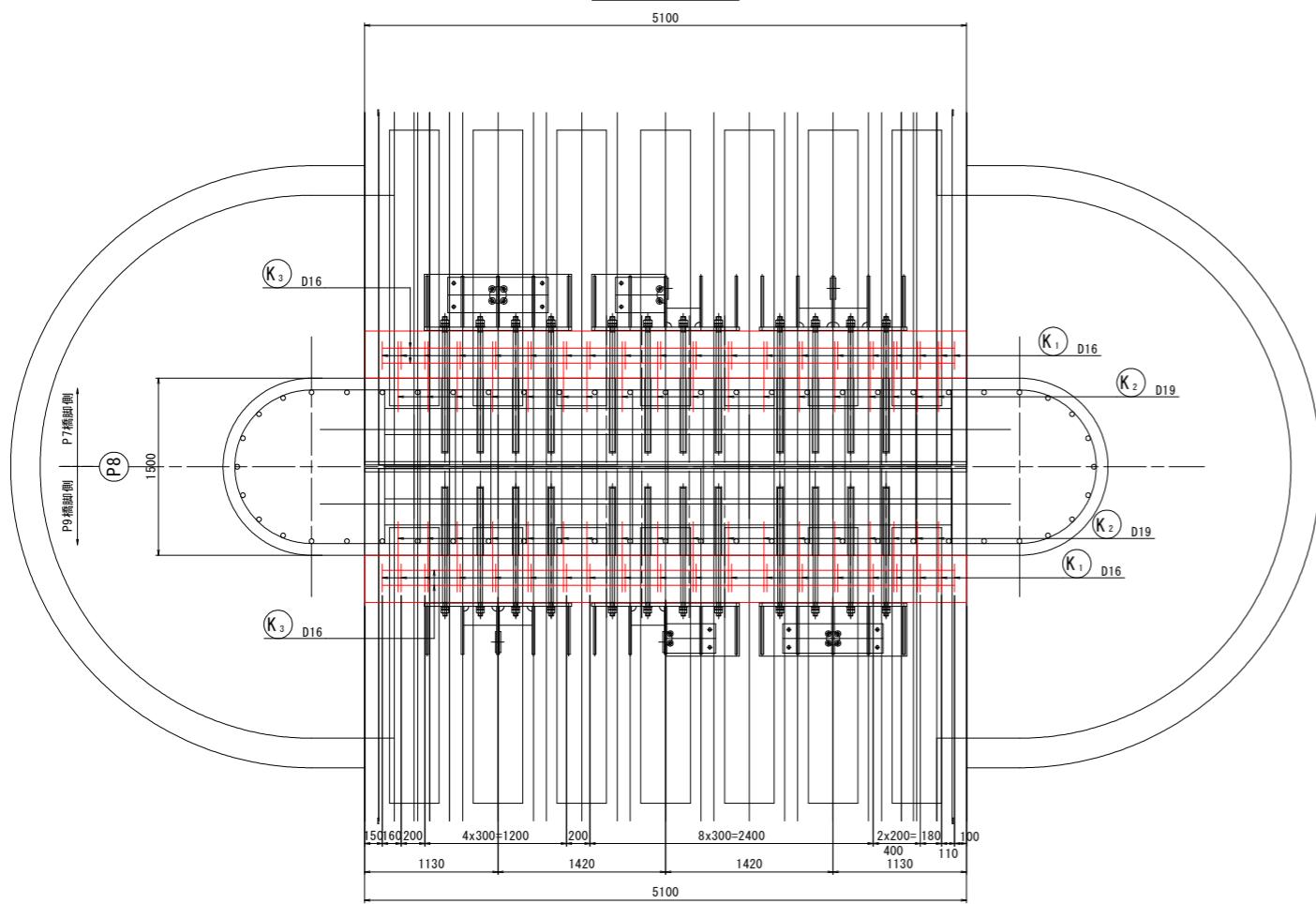


側面図

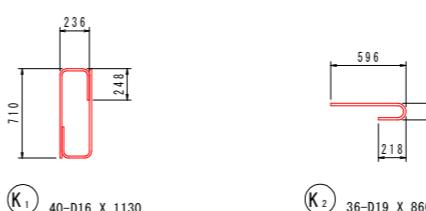
2 - 2



平面図



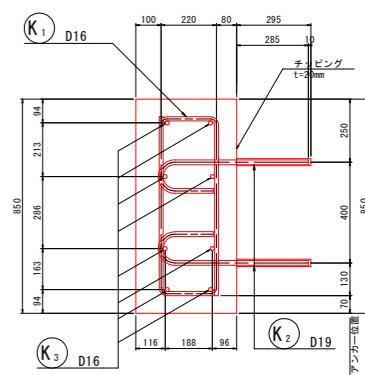
鉄筋加工図



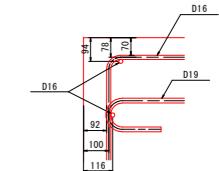
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当たり質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
K1	D16	1130	40	1.56	1.76	70	フ
K2	D19	860	36	2.25	1.94	70	ム
K3	D16	4950	8	1.56	7.72	62	一
合計 D19						202 kg	
D16						132 kg	
総質量						202 kg	

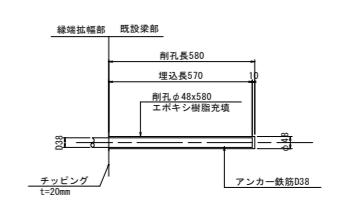
側面図 S=1:15



かぶり詳細図 S=1:15



アンカーチューブ詳細図 S=1:15



福井ダム管理橋 実施設計図面

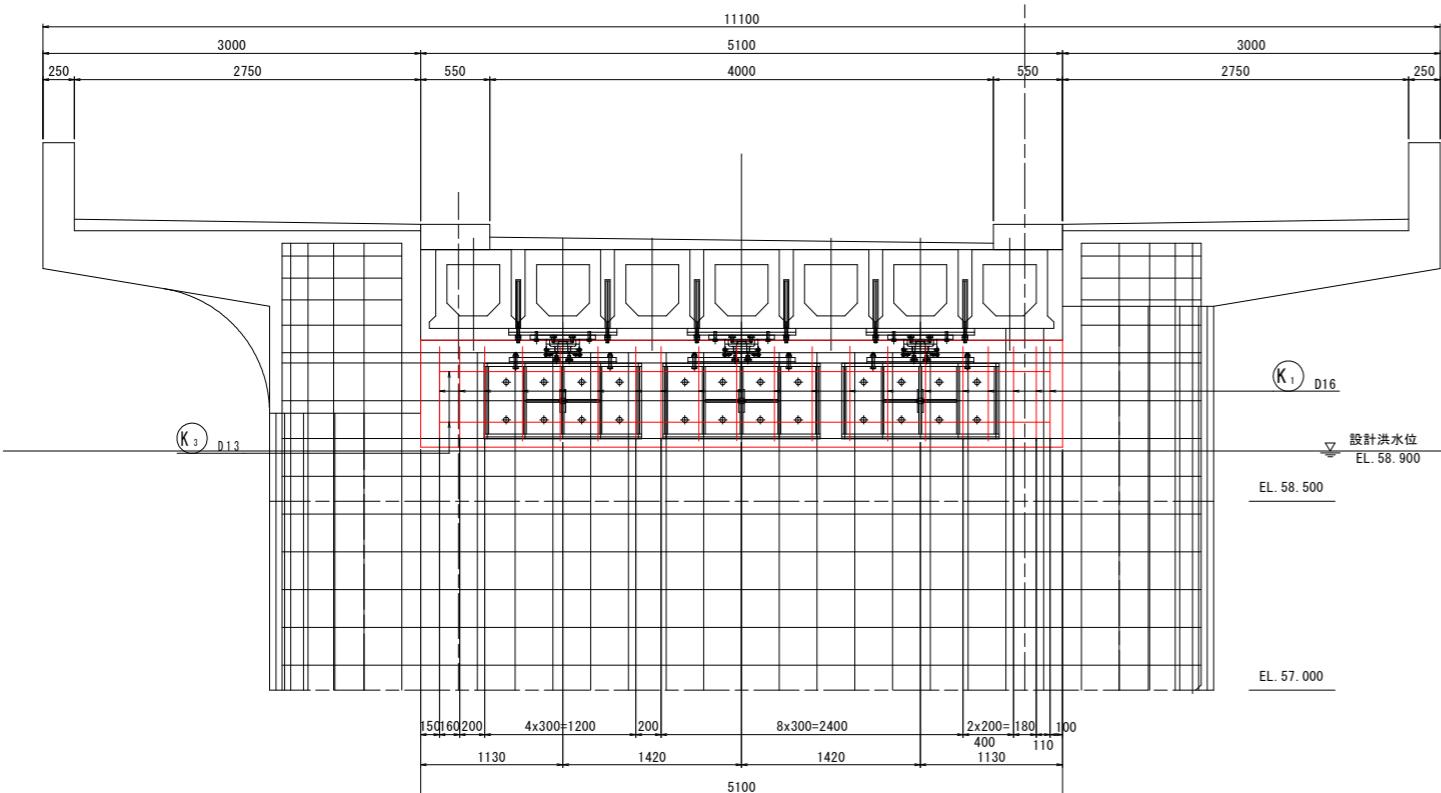
工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事	
路線名等	福井ダム	
工事箇所	阿南市福井町製設	
図面名	橋梁耐震補強計画図(その25)	
縮尺	図示	図面番号 11 / 18
会社名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南厅)	

橋梁耐震補強計画図(その26) S=1:30

〈P8橋脚 P9橋脚側〉

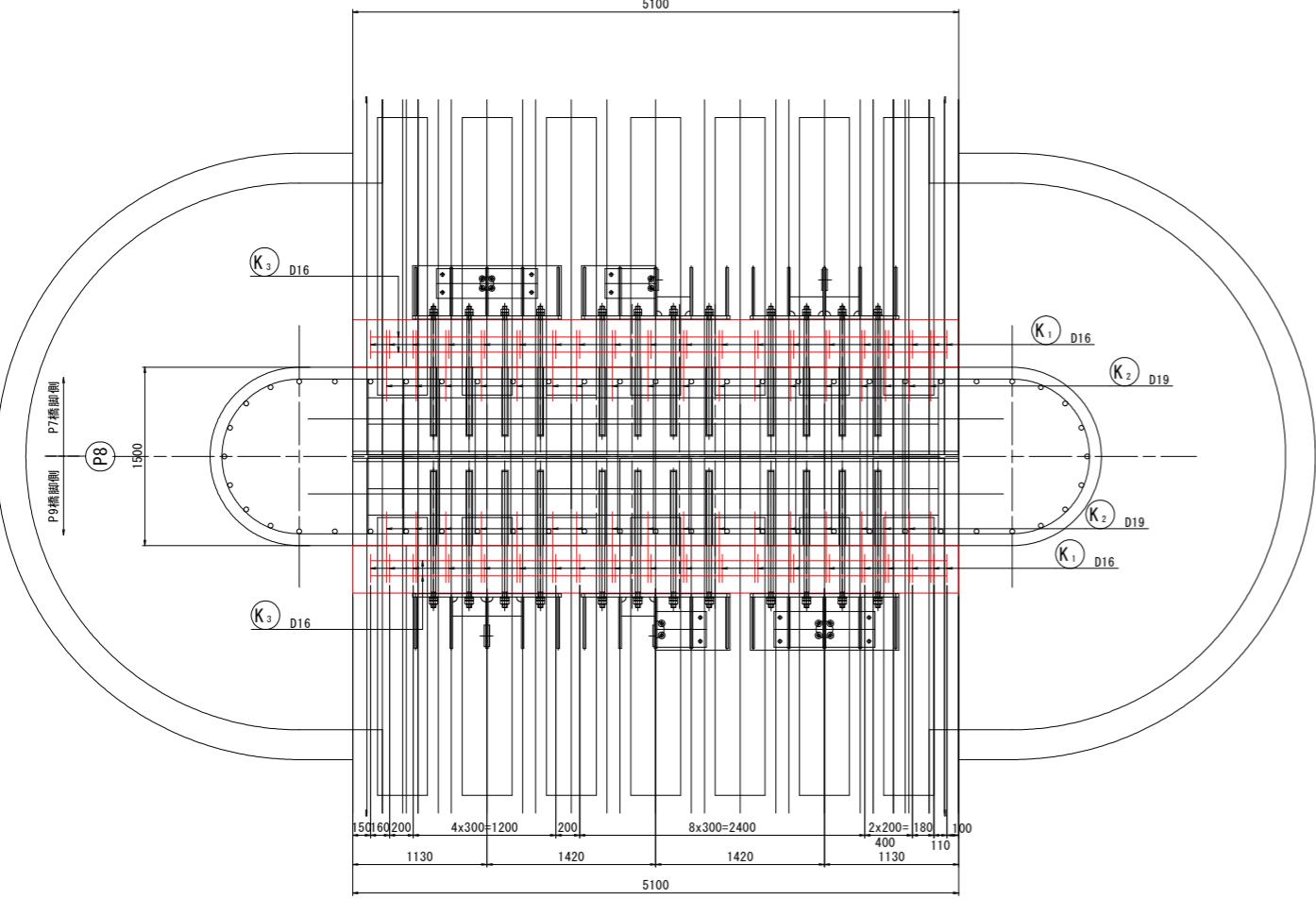
正面図

1 - 1



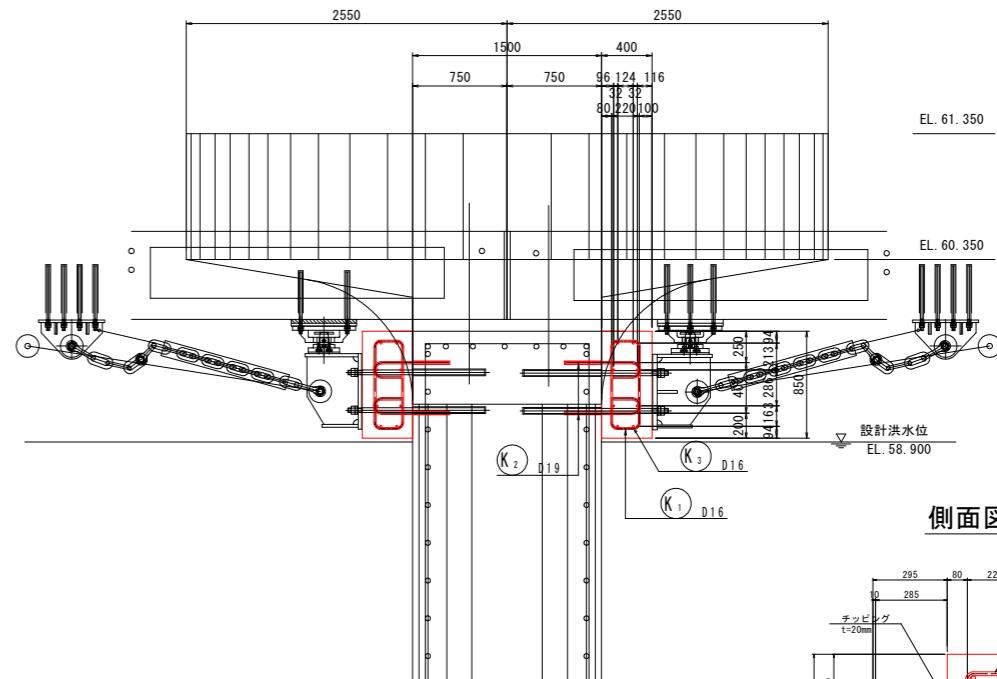
平面圖

5100

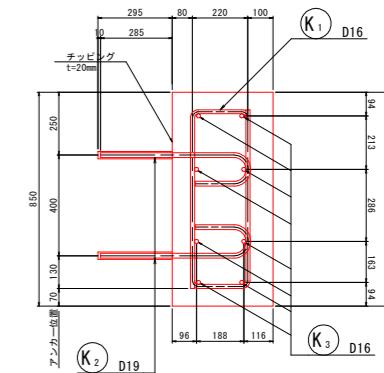


側面図

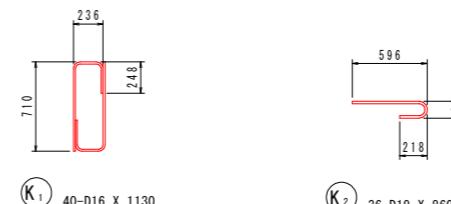
2 - 2



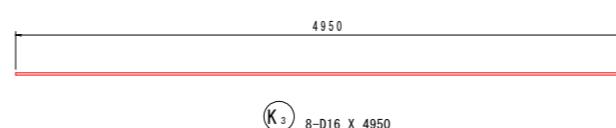
側面図 S=1:15



鉄筋加工図



かぶり詳細図 S=1:15



アンカー鉄筋詳細図 S=1:15



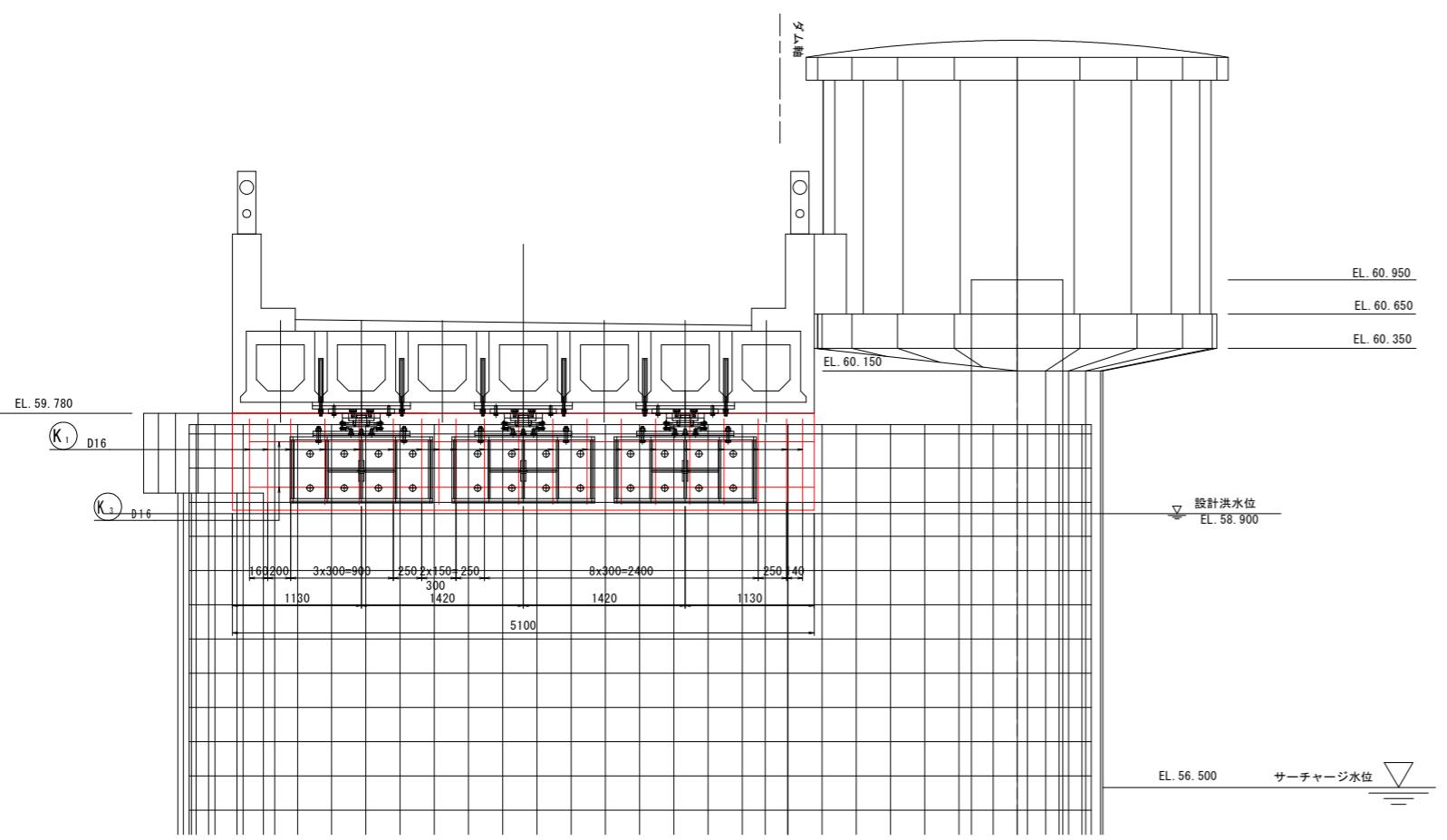
鐵筋質量表 (SD345)

橋梁耐震補強計画図(その30) S=1:30

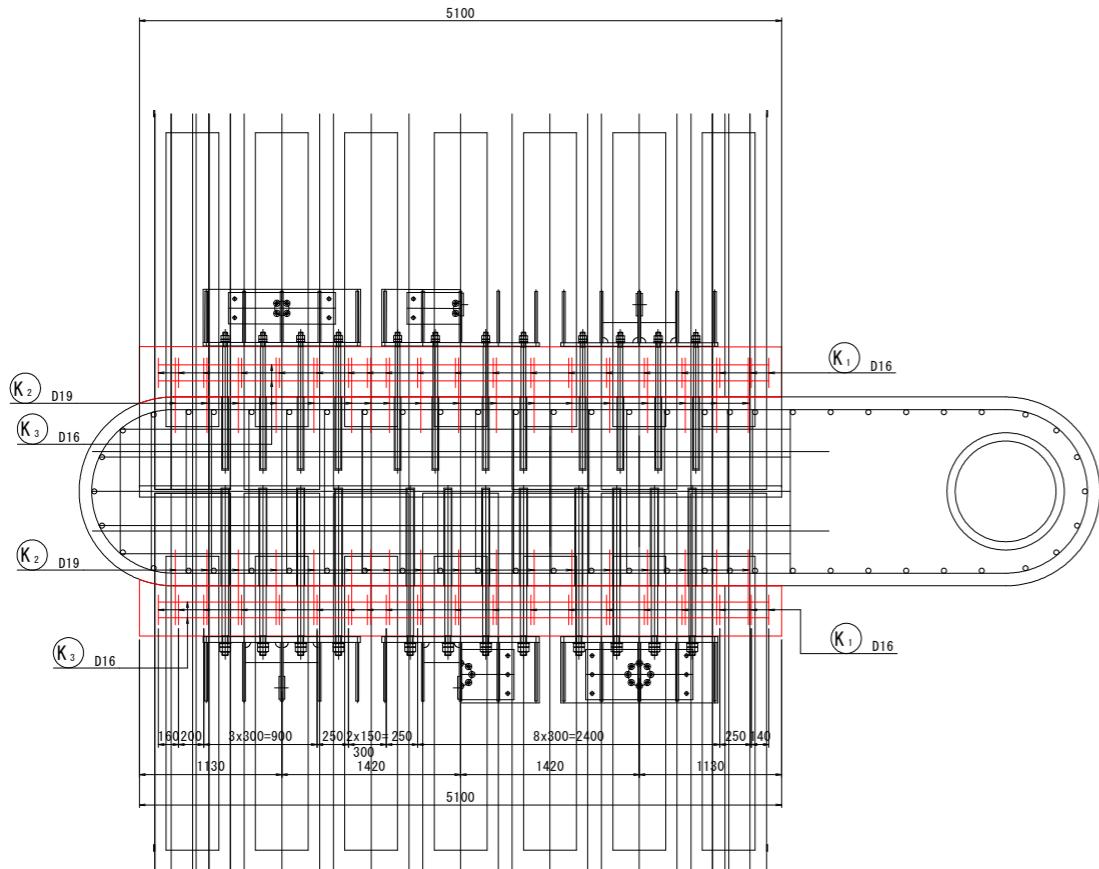
〈P7橋脚 P8橋脚側〉

正面図

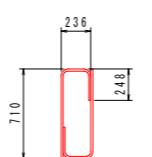
1 - 1



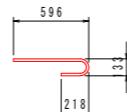
平面圖



鉄筋加工図



K₁ 40-D16 X 1130



K₂ 36-D19 X 860

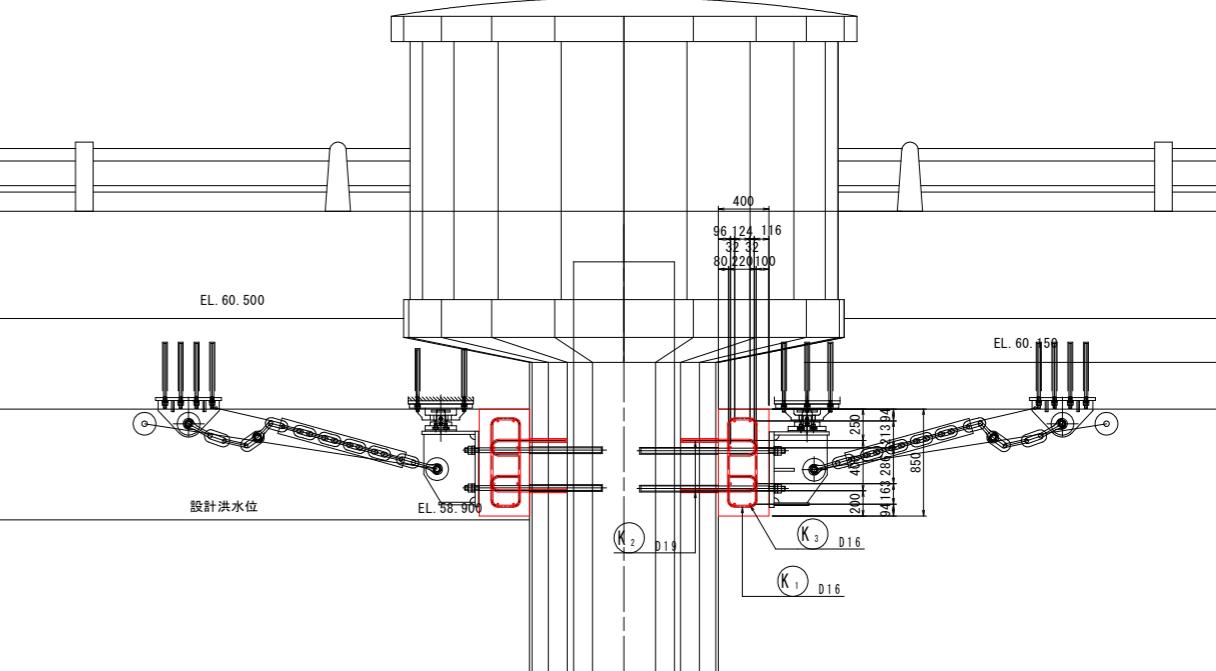


K₃ 8-D16 X 4950

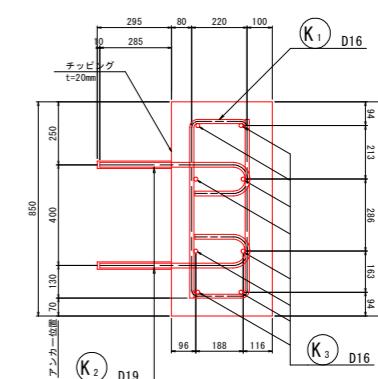
鐵筋質量表 (SD345)

側面図

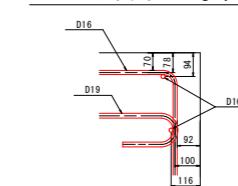
2 - 2



侧面図 S=1:15



かぶり詳細図 S=1:15



アンカー鉄筋詳細図 S=1:15



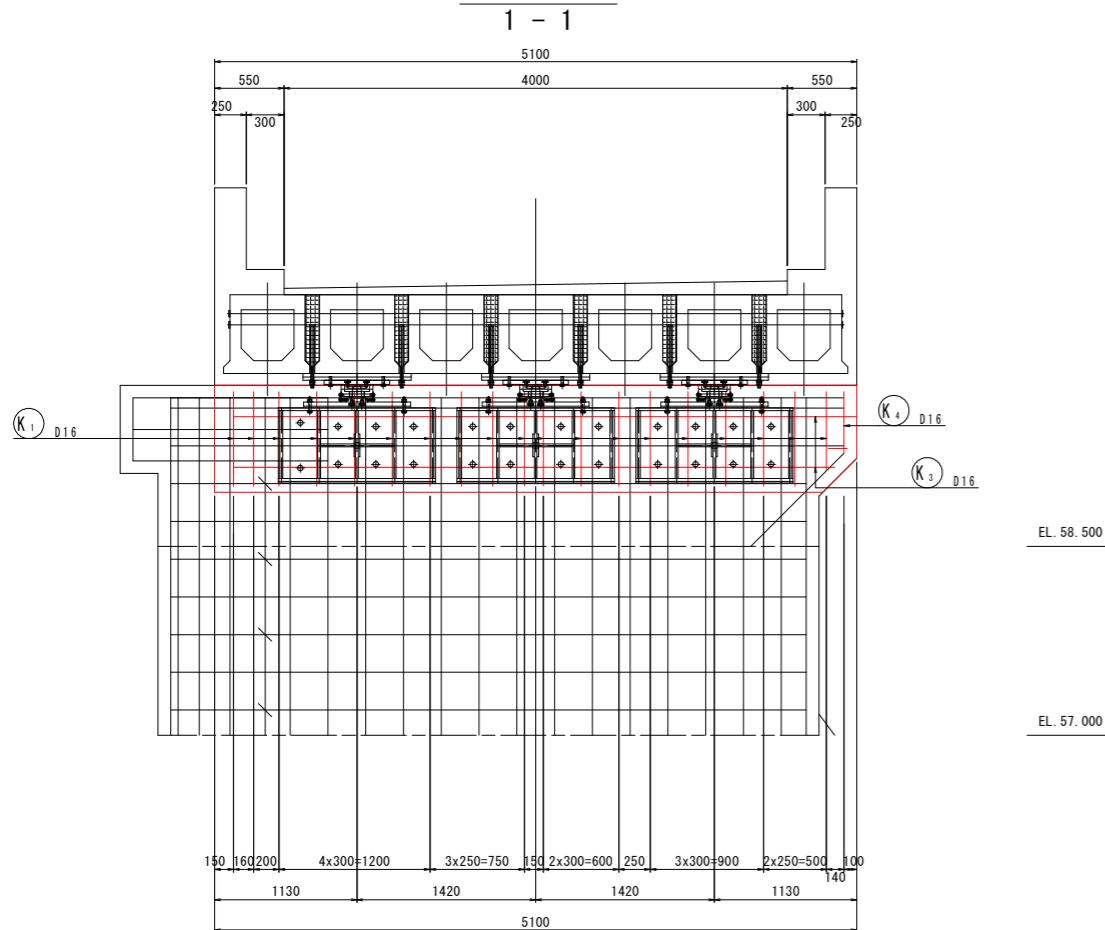
福井ダム管理橋

工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	福井ダム		
工事箇所	阿南市福井町裂股		
図面名	橋梁耐震補強計画図(その30)		
縮尺	図示	図面番号	13 / 18
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)		

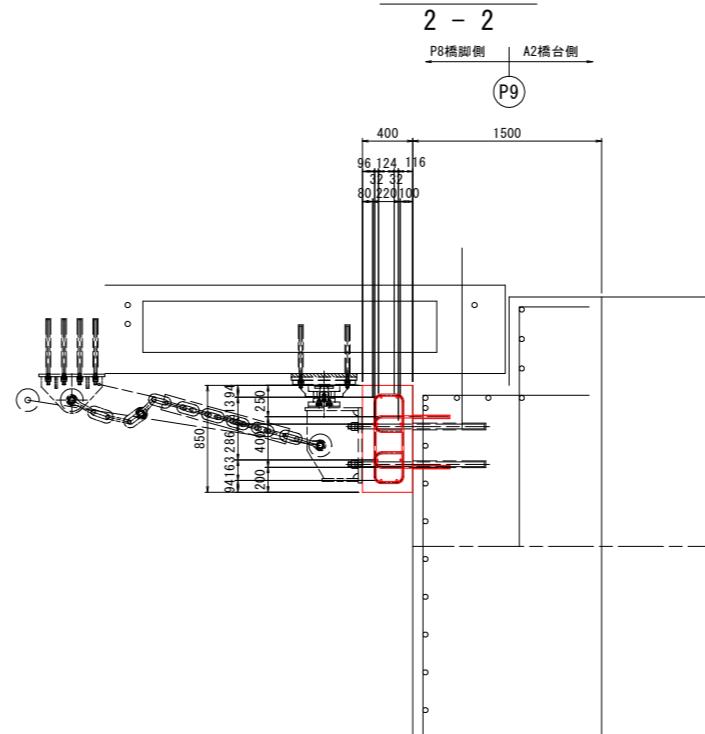
橋梁耐震補強計画図(その31) S=1:30

〈P9橋脚 P8橋脚側〉

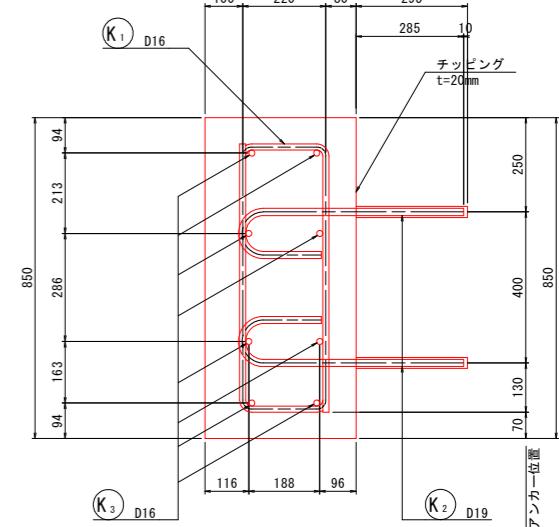
正面図



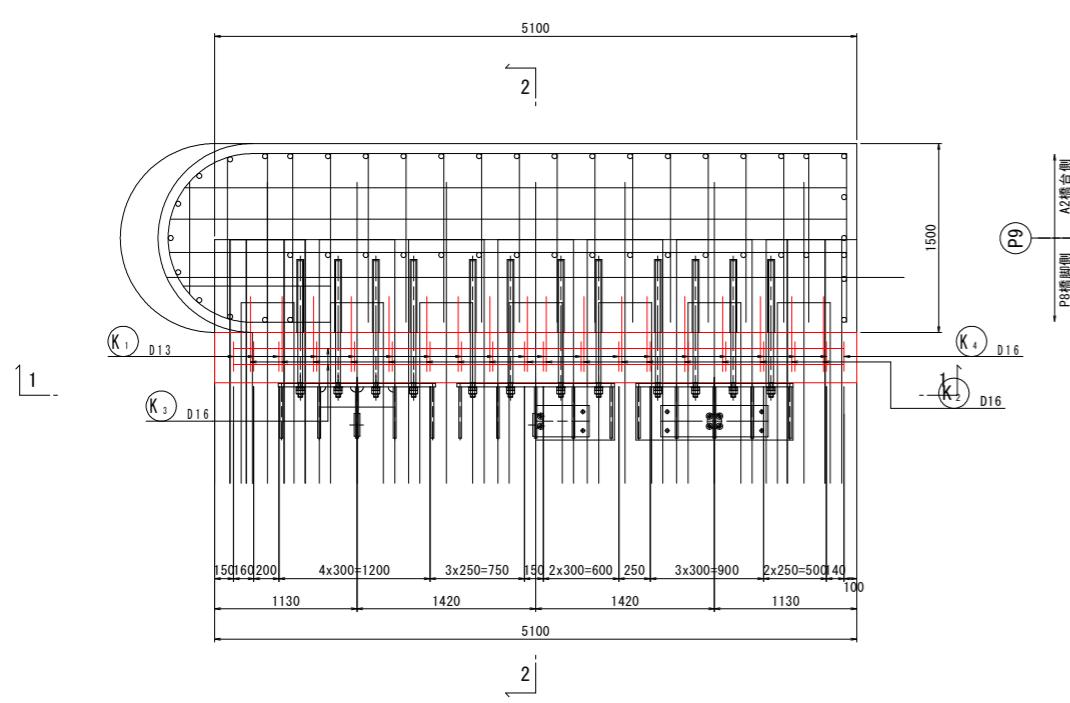
側面図



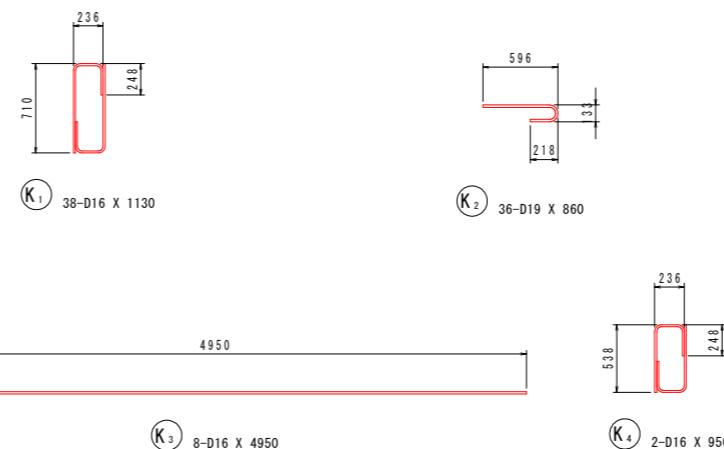
側面図 S=1:10



平面図

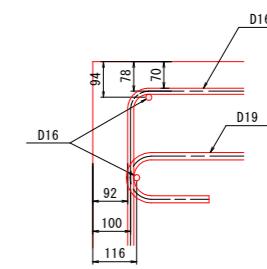


鉄筋加工図

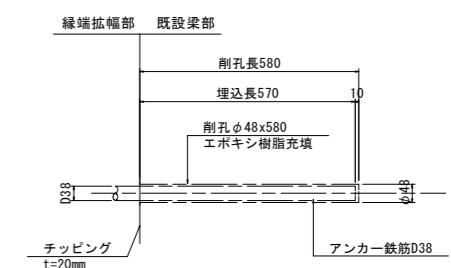


種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当たり質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
K1	D16	1130	38	1.56	1.76	67	1
K2	D19	860	36	2.25	1.94	70	2
K3	D16	4950	8	1.56	7.72	62	3
K4	D16	950	2	1.56	1.48	3	4
202 kg							
合計 D19 70 kg							
D16 132 kg							
総質量 202 kg							

かぶり詳細図 S=1:10



アンカーフレッシュ詳細図 S=1:10



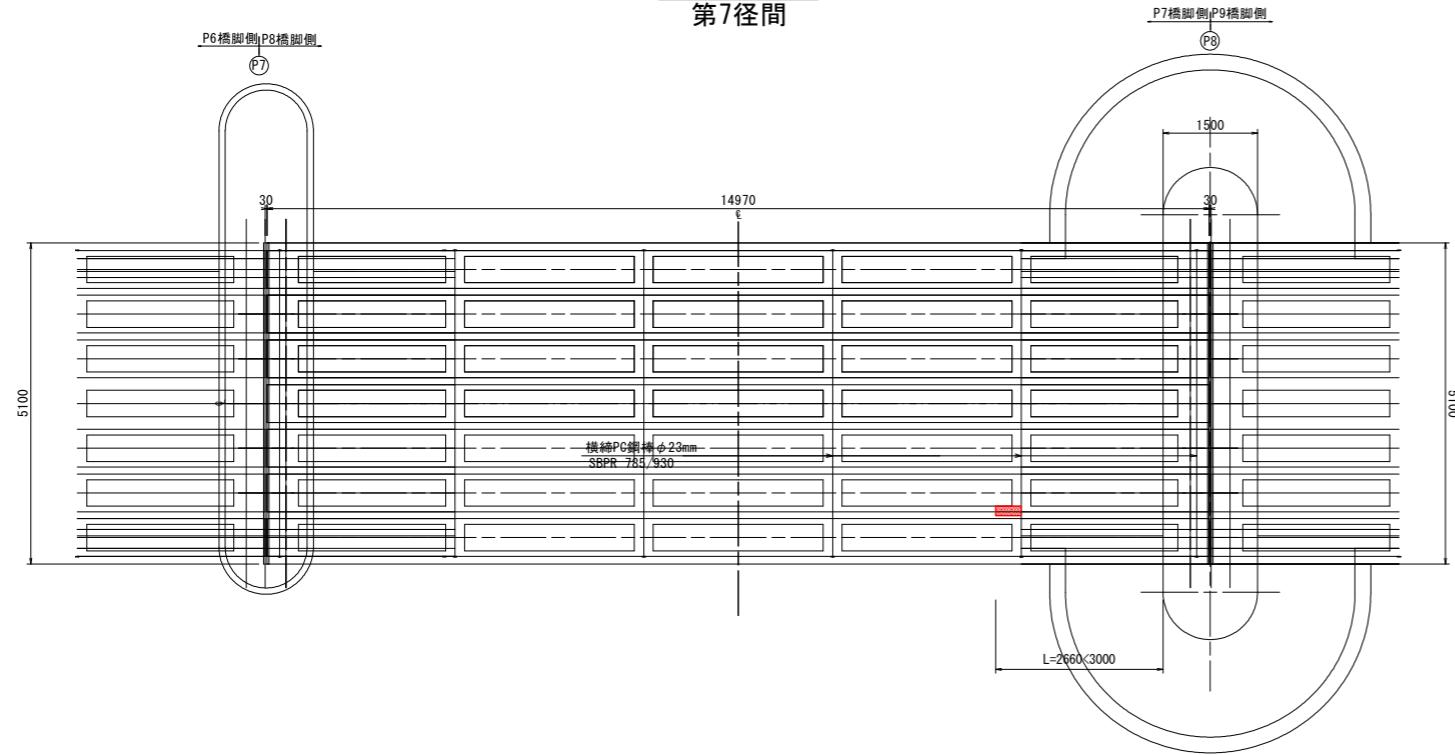
福井ダム管理橋 実施設計図面

工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事	
路線名等	福井ダム	
工事箇所	阿南市福井町製設	
図面名	橋梁耐震補強計画図(その31)	
縮尺	図示	図面番号 14 / 18
会社名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	

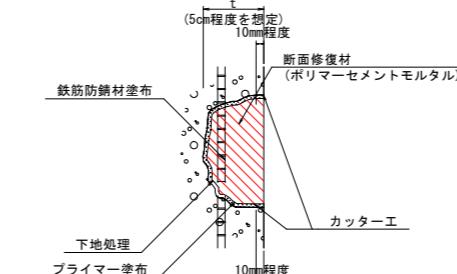
補修詳細図(その2) S=1:60

〈上部工〉

平面図
第7径間

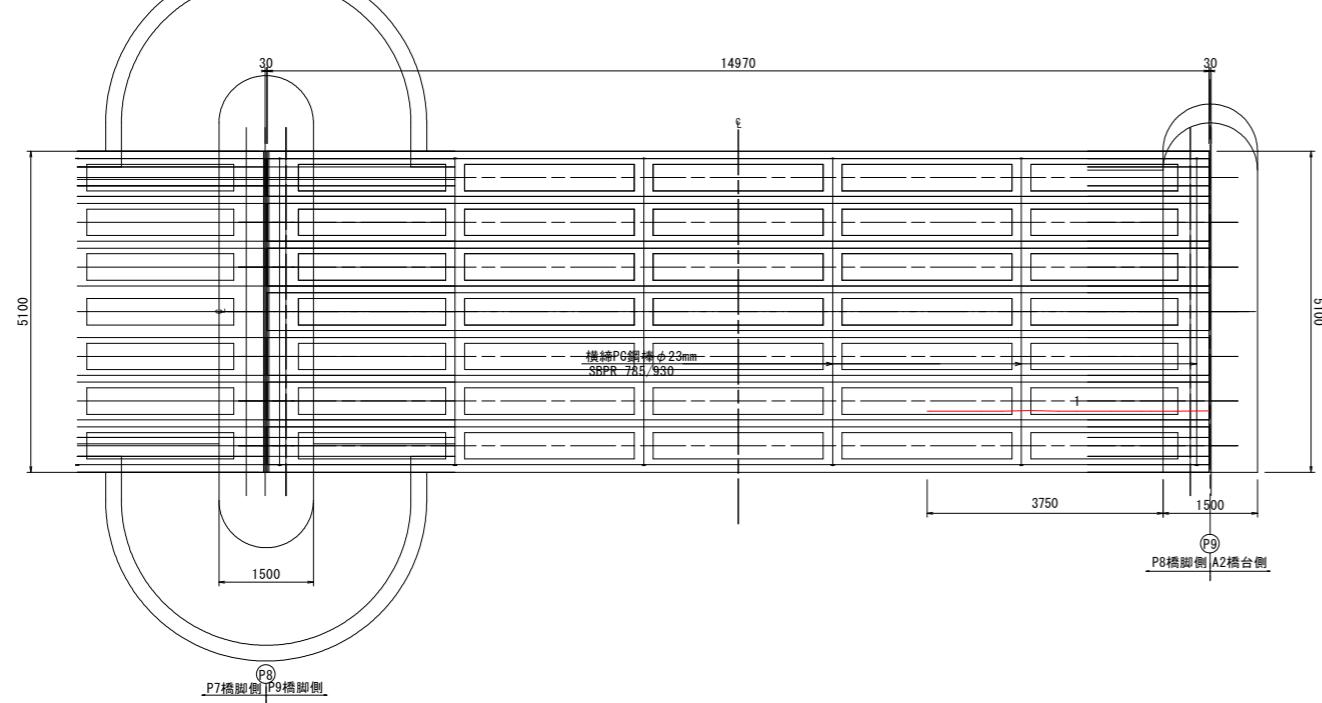


断面修復工(a)詳細図

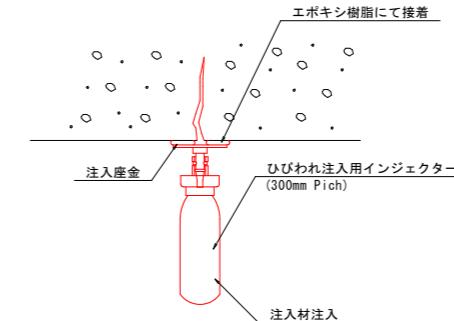


断面修復工(a)	
補修箇所	面積 (m ²)
第7径間	0.06
面積合計	0.06

平面図
第8径間



注入工法詳細図



ひびわれ注入工	
補修箇所	延長 (m)
第8径間	4.49
合計	4.49

※1. ひびわれ補修工は下記とする。
0.2mm ≤ t < 1.0mm : ひびわれ注入工
t ≥ 1.0mm または遊離石灰を伴う : ひびわれ充填工

注記)

- 施工にあたっては現場の調査計測を行い、寸法については必要に応じて変更のこと。
- 現況寸法を確認の上、部材加工寸法を決定すること。
- ひびわれ補修工、断面修復材等の使用材料については、発注者と協議の上決定すること。

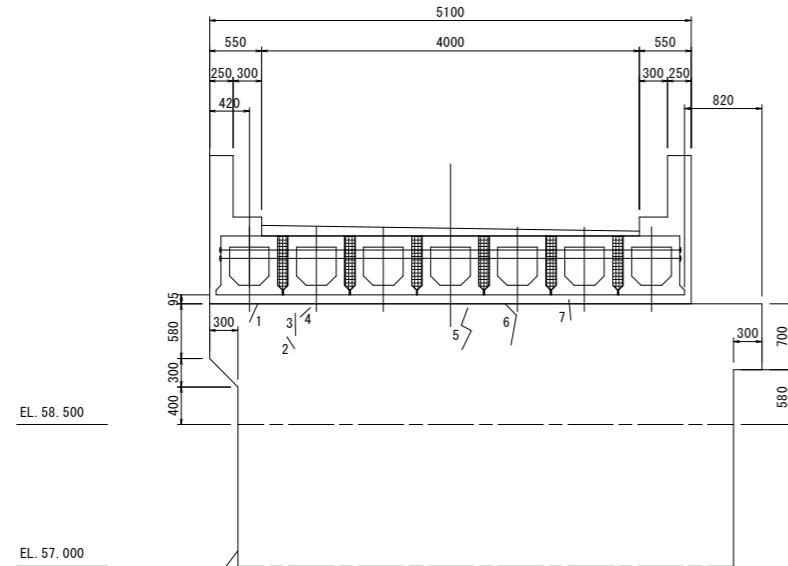
福井ダム管理橋 実施設計図面

工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事	
路線名等	福井ダム	
工事箇所	阿南市福井町製設	
図面名	補修詳細図(その2)	
縮尺	S=1:60	図面番号 15 / 18
会社名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	

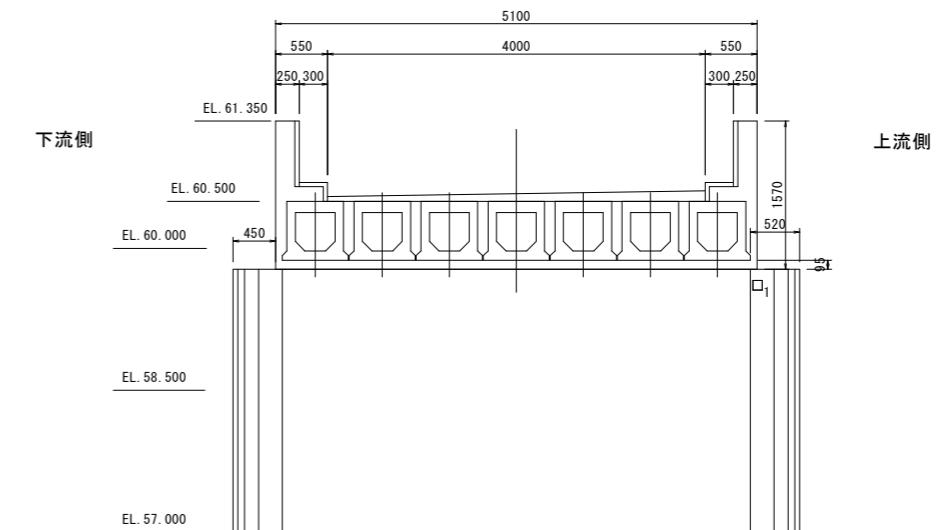
補修詳細図(その3) S=1:40

〈P1橋脚 P2橋脚(A1側) P9橋脚〉

P1 橋脚

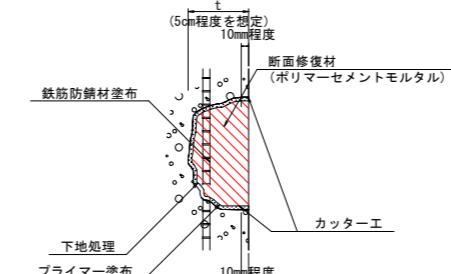
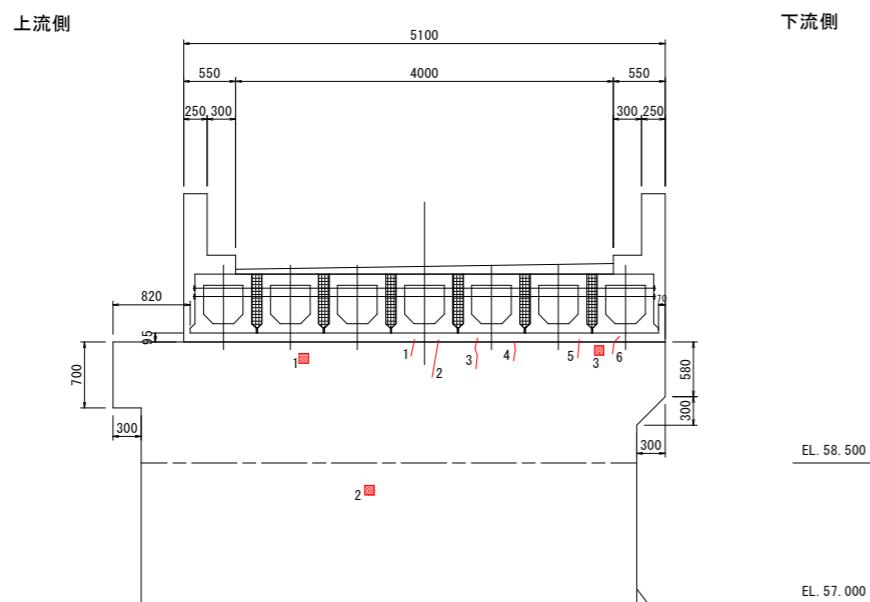


P2橋脚 A1側



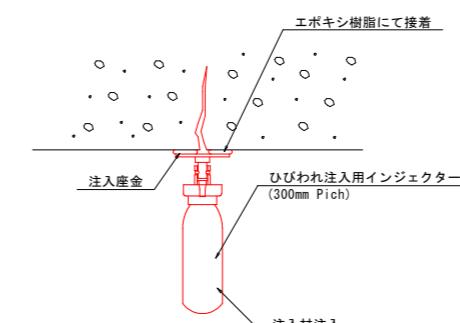
断面修復工(a) 詳細図

P9 橋脚



断面修復工(a)	
補修箇所	面積 (m ²)
P2橋脚(A1側)	0.01
P9橋脚(A2側)	0.03
面積合計	0.04

注入工法詳細図



ひびわれ注入工	
補修箇所	延長(m)
P1橋脚	1.98
P9橋脚(A2側)	1.52
合計	3.50

※1. ひびわれ補修工は下記とする。
 0.2mm \leq $t < 1.0\text{mm}$: ひびわれ注入工
 $t \geq 1.0\text{mm}$ または遊離石灰を伴う : ひびわれ充填工

注記

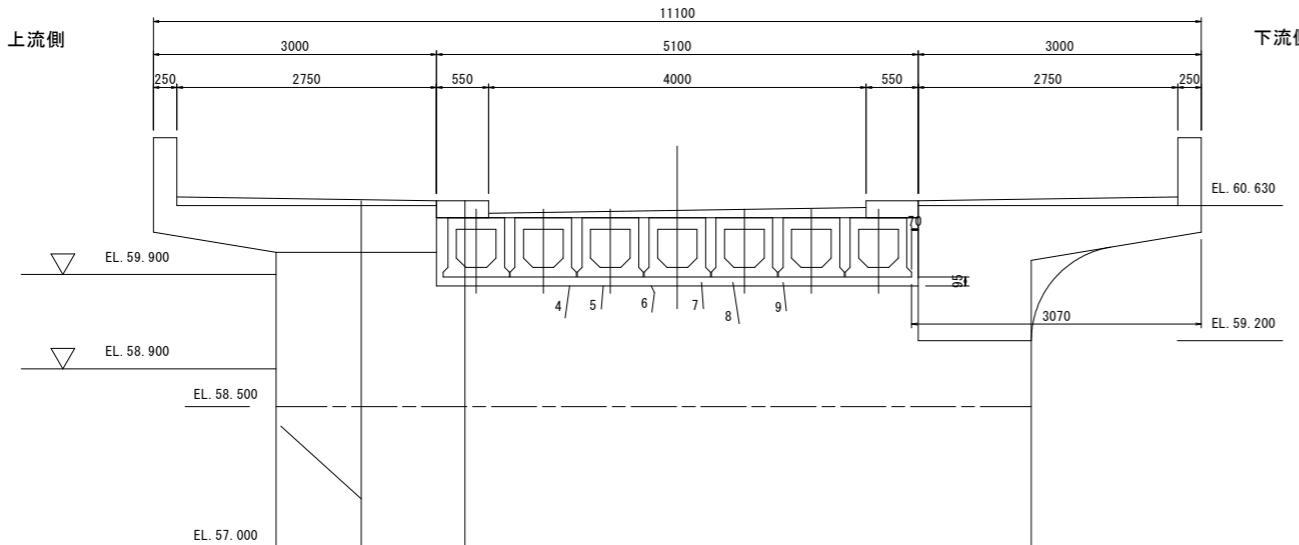
注記)

- 施工にあたっては現場の調査計測を行い、寸法については必要に応じて変更のこと。
- 現況寸法を確認の上、部材加工寸法を決定すること。
- ひびわれ補修工、断面修復材等の使用材料については、発注者と協議の上決定すること。

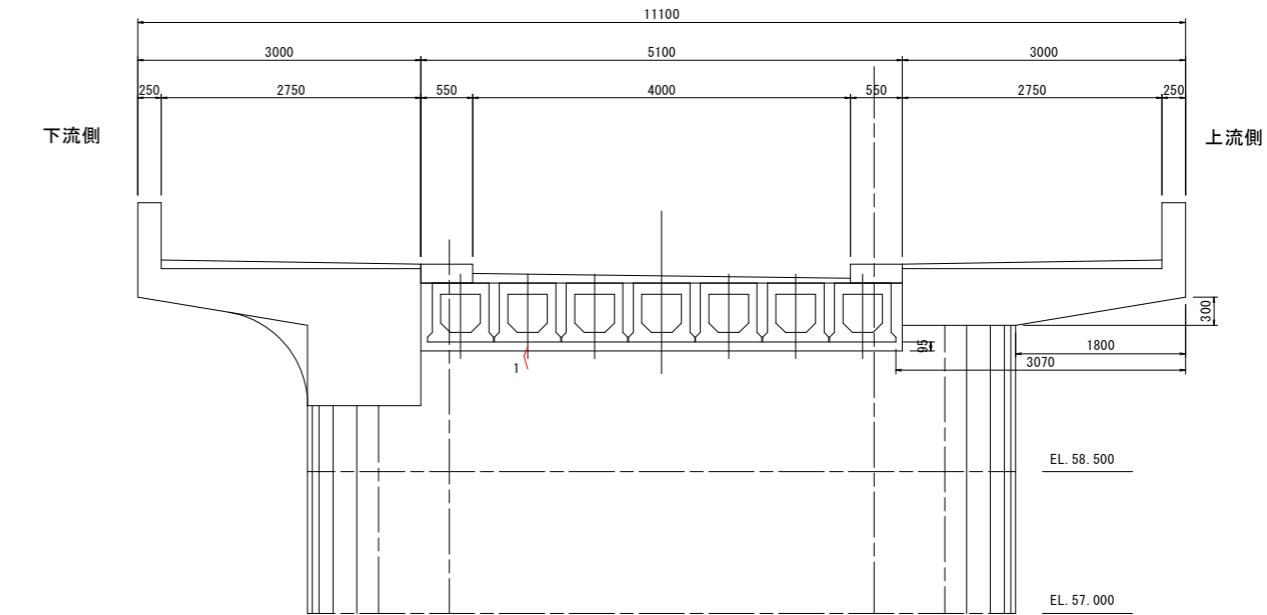
福井ダム管理橋		実施設計図面	
工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	福井ダム		
工事箇所	阿南市福井町裂股		
図面名	補修詳細図(その3)		
縮尺	S=1:40	図面番号	16 / 18
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南厅舎)		

補修詳細図(その5) S=1:40
<P6橋脚(A2橋脚側) P8橋脚(A1・A2橋脚側)>

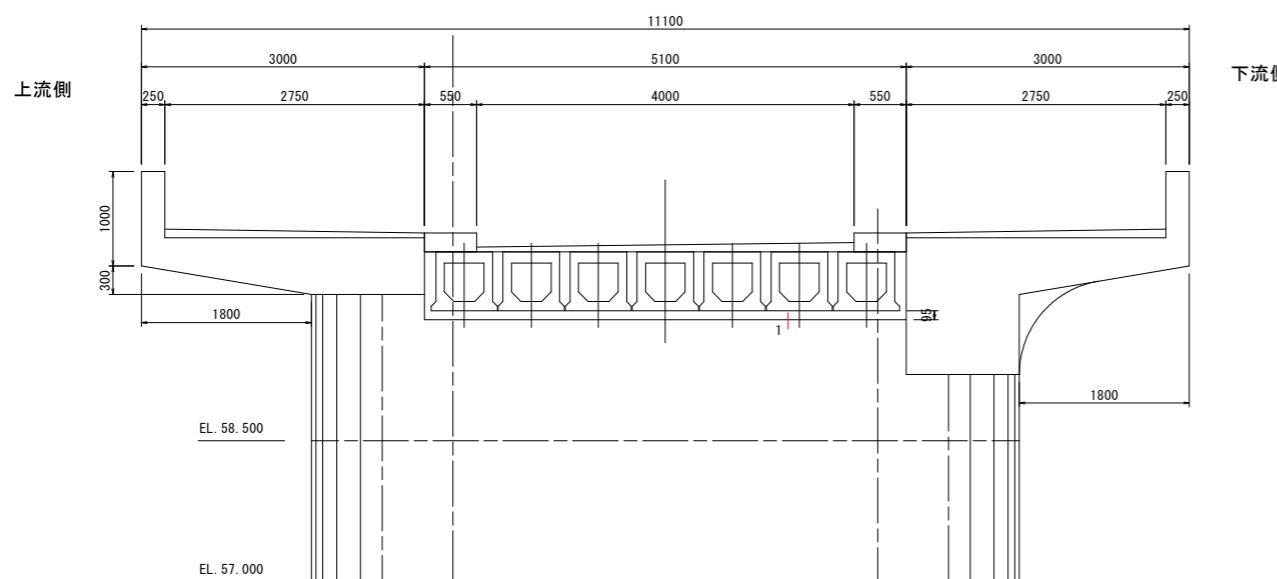
P6橋脚 A2側



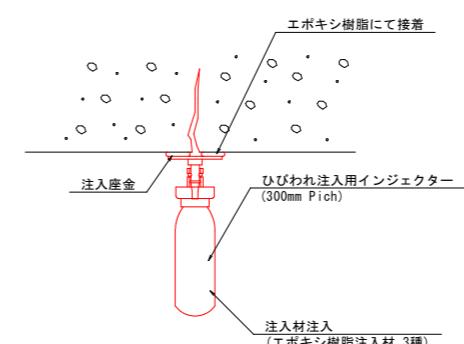
P8橋脚 A1側



P8橋脚 A2側



注入工法詳細図



補修箇所	延長(m)
P6橋脚(A2側)	1.91
P8橋脚(A1側)	0.25
P8橋脚(A2側)	0.17
合計	2.33
	0.42

※1. ひびわれ補修工は下記とする。
0.2mm ≤ t < 1.0mm : ひびわれ注入工
t ≥ 1.0mmまたは遊離石灰を伴う : ひびわれ充填工

注記)

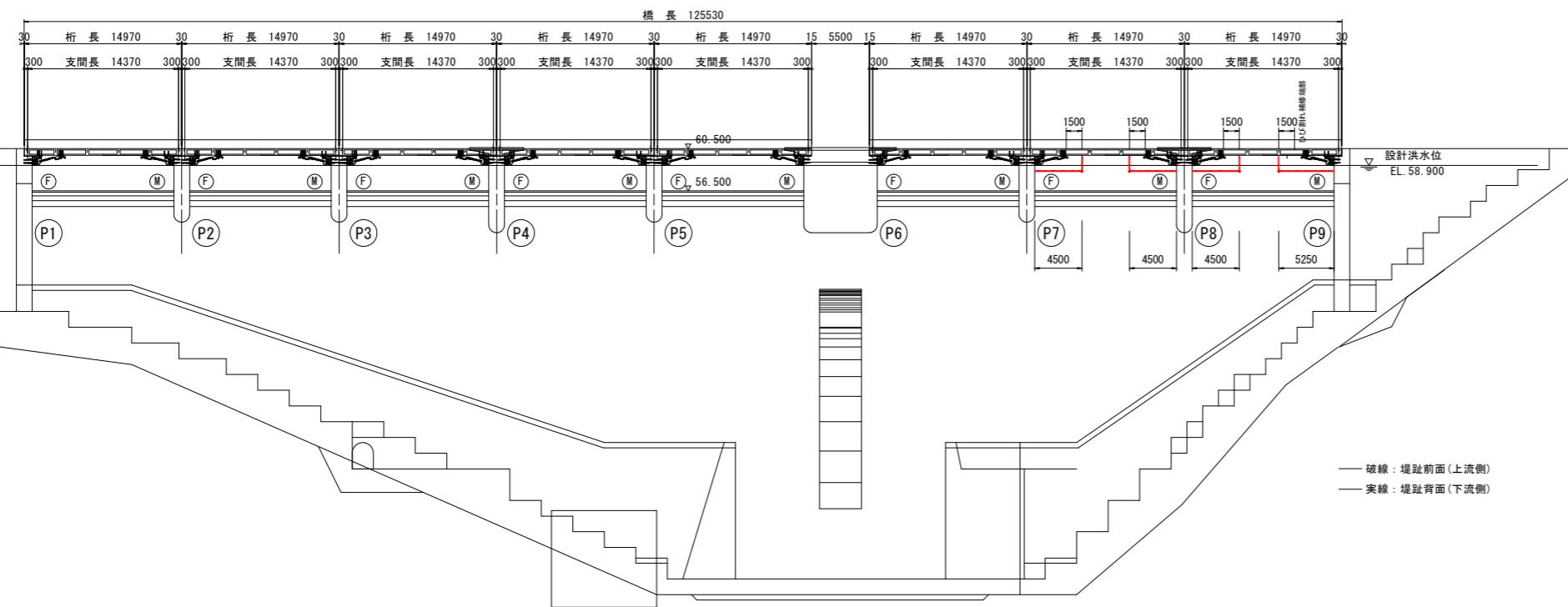
- 施工にあたっては現場の調査計測を行い、寸法については必要に応じて変更のこと。
- 現況寸法を確認の上、部材加工寸法を決定すること。
- ひびわれ補修工、断面修復材等の使用材料については、発注者と協議の上決定すること。

福井ダム管理橋 実施設計図面

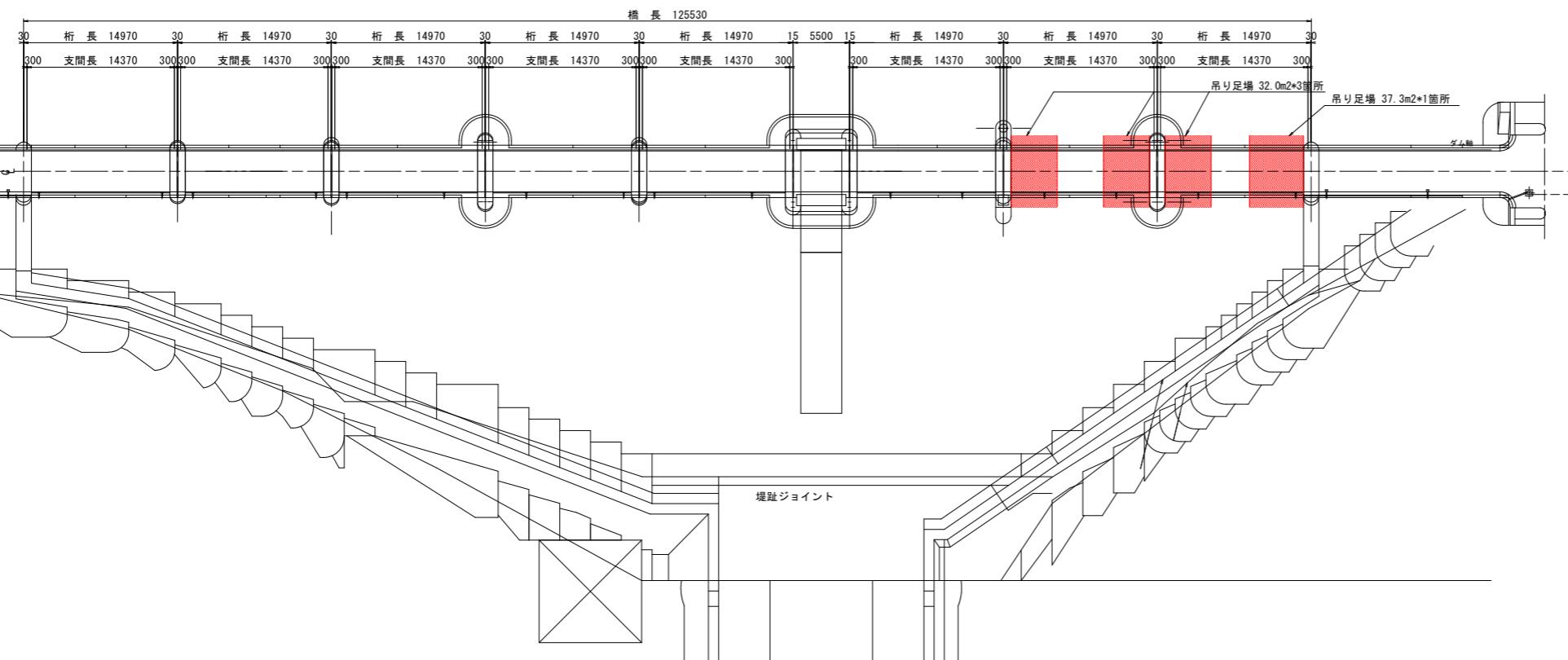
工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事	
路線名等	福井ダム	
工事箇所	阿南市福井町製設	
図面名	補修詳細図(その5)	
縮尺	S=1:40	図面番号 17 / 18
会社名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)	

仮設計画図 S=1:300

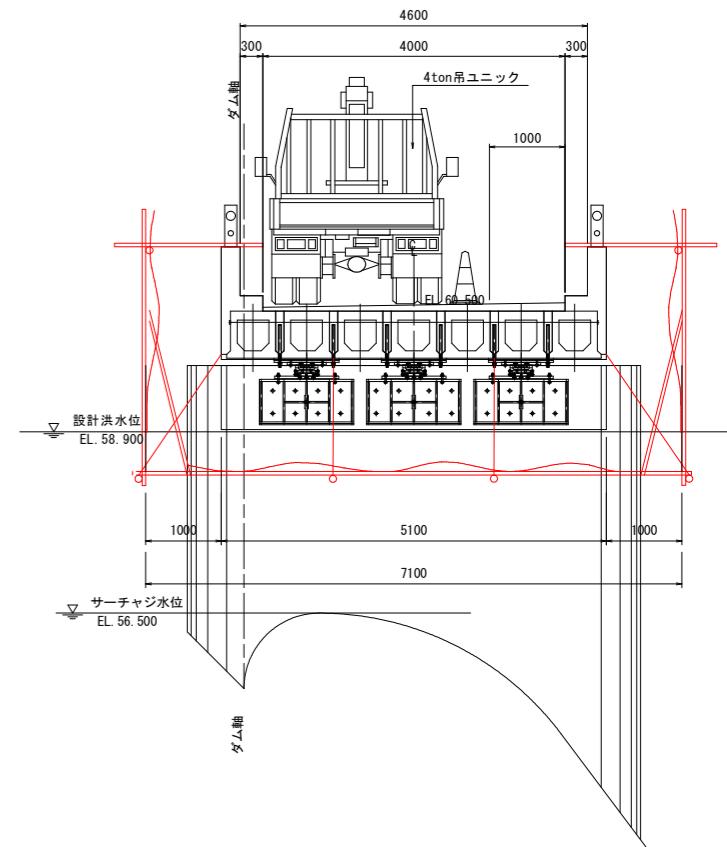
側面図



平面圖



標準断面図 S=1:50



福井ダム管理橋 実施設計図面

工事名	R7阿土 福井ダム 阿南・福井 橋梁耐震補強工事		
路線名等	福井ダム		
工事箇所	阿南市福井町裂設		
図面名	仮設計図面		
縮尺	図示	図面番号	18 / 18
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部(阿南庁舎)		